

求積ツール for Revit[®]

リファレンスマニュアル

(Revit2023/2024 対応版 Ver2)



目次

1 システムについて

1-1 はじめに	2
1-1-1 主な機能	2
1-2 本システムの起動	3
1-2-1 求積ツールメニュー	3
1-3 本システムのワークフロー	4
1-4 用語の定義	5
1-5 集計項目について	6
1-6 面積表について	8
1-6-1 求積図形面積表	8
1-6-2 求積区画面積表	8
1-6-3 集計項目面積表	9
1-6-4 建物面積表	10
1-6-5 用途別面積表	10
1-7 記号・番号について	11

2 集計設定

2-1 はじめに	13
2-2 集計項目設定	14
2-2-1 「集計項目設定」ダイアログ	14
2-2-2 集計項目の見方	15
2-2-3 計算パターン	16
2-2-4 集計項目の構成を変更する	17
2-2-5 面積集計属性を追加する	18
2-2-6 面積集計属性を削除する	19
2-2-7 面積集計属性を編集する	20
2-2-8 小計フォルダを複写する	24
2-2-9 面積集計属性の計算式の改行を設定する	25
2-2-10 面積集計属性の記号・番号をリナンバリングする	28
2-3 対象ビューの設定	29
2-3-1 「対象ビューの設定」ダイアログ	29
2-3-2 求積図形を作図・集計する対象ビューを設定する	30
2-3-3 対象ビューに計算パターンを設定する	31
2-4 集計項目インポート・エクスポート	32
2-4-1 集計項目をインポートする	32
2-4-2 集計項目をエクスポートする	33

3 求積図形設定

3-1 はじめに	35
3-2 求積図形自動作図	36
3-2-1 「求積図形自動作図」ダイアログ	36
3-2-2 求積図形を作成する	37

3-3 求積図形削除	39
3-3-1 求積図形を削除する.....	39
3-4 求積図形更新	40
3-4-1 「求積図形更新」ダイアログ	40
3-4-2 求積図形を更新する.....	40
3-5 集計項目に登録	42
3-5-1 「集計項目に登録」ダイアログ	42
3-5-2 集計項目に求積区画を登録	43
3-6 求積図形一覧	45
3-6-1 「求積図形一覧」ダイアログ	45
3-6-2 求積図形の記号番号の整理	45

4 面積表出力

4-1 はじめに	50
4-2 求積図形面積表出力.....	51
4-2-1 求積図形面積表を出力する	51
4-2-2 端数処理の設定について	51
4-3 求積区画面積表出力.....	52
4-3-1 求積区画面積表を出力する	52
4-3-2 端数処理の設定について	52
4-4 集計項目面積表出力.....	53
4-4-1 集計項目面積表を出力する	53
4-4-2 集計項目面積表と集計項目の関係	54
4-4-3 端数処理の設定について	54
4-5 建物面積表出力	56
4-5-1 建物面積表を出力する	56
4-5-2 建物面積表と集計項目の関係	58
4-5-3 端数処理の設定について	58
4-6 用途別面積表出力	59
4-6-1 用途別面積表を出力する	59
4-6-2 用途別面積表と集計項目の関係	60
4-6-3 端数処理の設定について	60
4-7 確認申請用情報出力	61
4-7-1 確認申請用情報を出力する	61
4-7-2 プロジェクト情報の確認	62

5 環境設定

5-1 はじめに	64
5-2 端数処理	65
5-2-1 面積の切り上げは1つ下の位で処理する	65
5-3 モード設定	66
5-4 記号・寸法サイズ	67
5-4-1 記号サイズについて	67
5-4-2 寸法サイズについて	68

5-5 面積表	69
5-5-1 求積図形面積表	70
5-5-2 求積区画面積表	70
5-5-3 集計項目面積表	70
5-6 建物面積表	71
5-7 用途別面積表	72
5-8 プロジェクト情報の確認	73
5-9 環境設定インポート・エクスポート	74
5-9-1 環境設定をインポートする	74
5-9-2 環境設定をエクスポートする	75

6 その他

6-1 サポートについて	77
--------------------	----

1 システムについて

1-1 はじめに

- 「求積ツール for Revit」(以下、本システムといいます)は Revit のアドインプログラムです。
- Revit で入力した建物モデル要素から、求積計算を簡単な操作で効率的に行うことができます。
- 設計業務の中で大きなウェイトを占める求積作業の効率化を図ることができます。

1-1-1 主な機能

- 本システムは大きく 3 つの機能から構成されます。

集計項目設定

面積表の集計項目を設定します

作成した求積図形を部屋またはエリア単位で集計項目に登録します

求積図形作成

Revit の部屋またはエリアを面積集計の基となる求積区画に登録し、求積図形を自動作成します

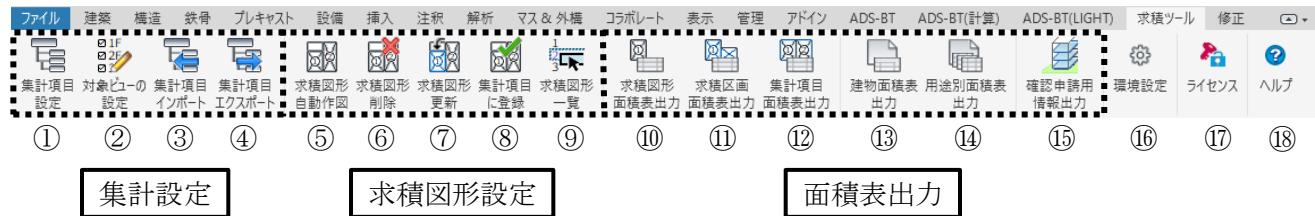
面積表出力

各種面積表を出力します

1-2 本システムの起動

○ 本システムをインストールすると、Revit メニューに「求積ツール」が追加されます。

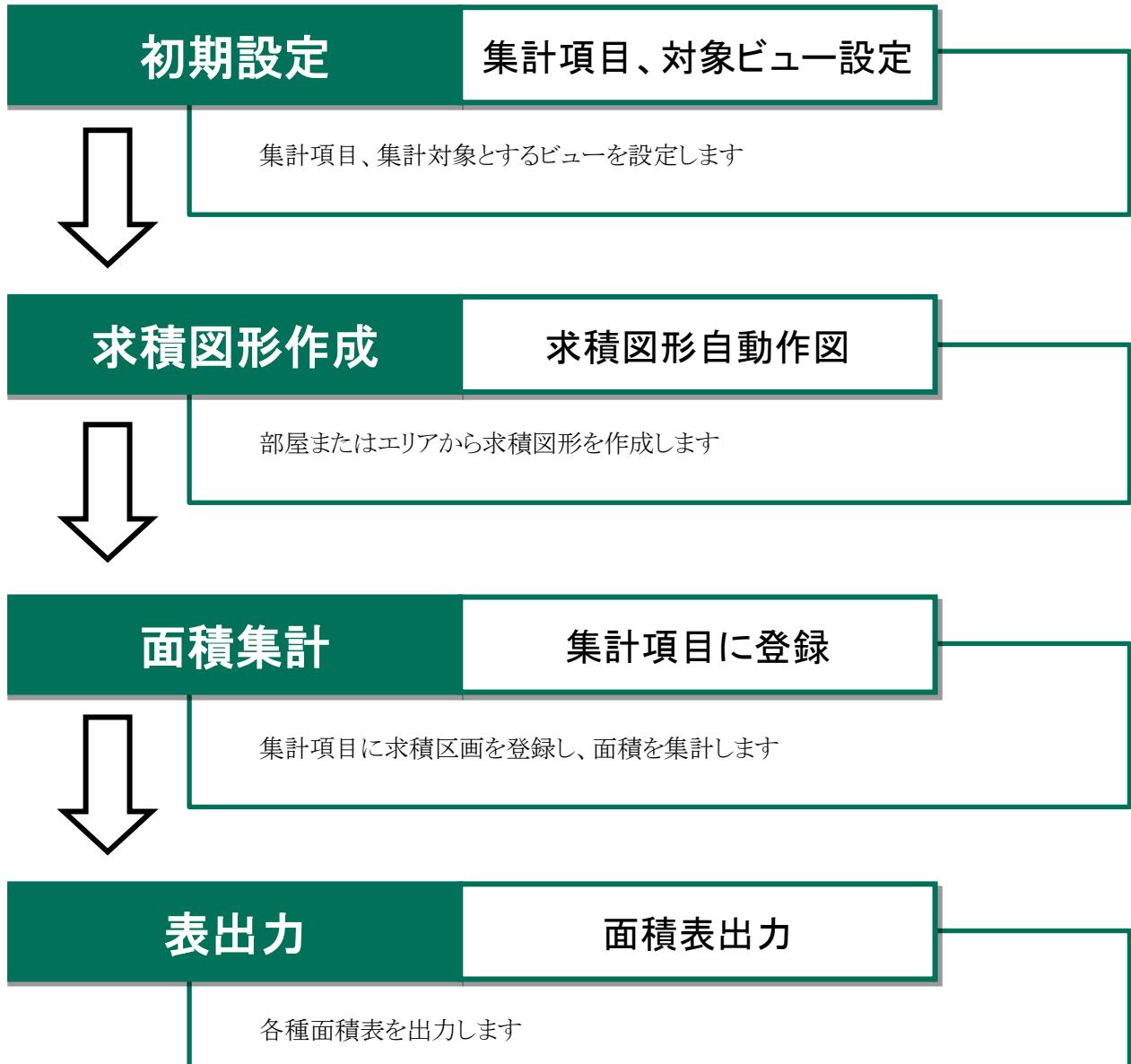
1-2-1 求積ツールメニュー



番号	項目	概要
①	集計設定	集計項目を設定します
②		作図対象ビュー及び集計対象ビューを設定します
③		集計項目インポートします
④		集計項目エクスポートします
⑤	求積図形設定	部屋またはエリアを求積区画に登録し、求積図形を自動化します
⑥		求積区画の登録を解除し、求積図形を削除します
⑦		求積区画及び求積図形を更新します
⑧		求積区画を集計項目に割り当てます
⑨		求積図形を一覧で表示します 求積図形の番号の再設定が可能です
⑩	面積表出力	求積図形の面積表を出力します 選択中のビューのレベルが対象です
⑪		求積区画の面積表を出力します 選択中のビューのレベルが対象です
⑫		面積集計属性の面積表を出力します 選択中のビューのレベルが対象です
⑬		集計項目による面積表を出力します 全ての集計対象ビューが対象です
⑭		面積集計属性の面積表を出力します 全ての集計対象ビューが対象です
⑮		確認申請用の面積集計をリストに表示し、プロジェクト情報、又は csv ファイルに出力します
⑯	環境設定	本システムの全体的な環境を設定します
⑰	ライセンス	本システムのライセンス利用状況を確認します
⑱	ヘルプ	本リファレンスマニュアルを開きます

1-3 本システムのワークフロー

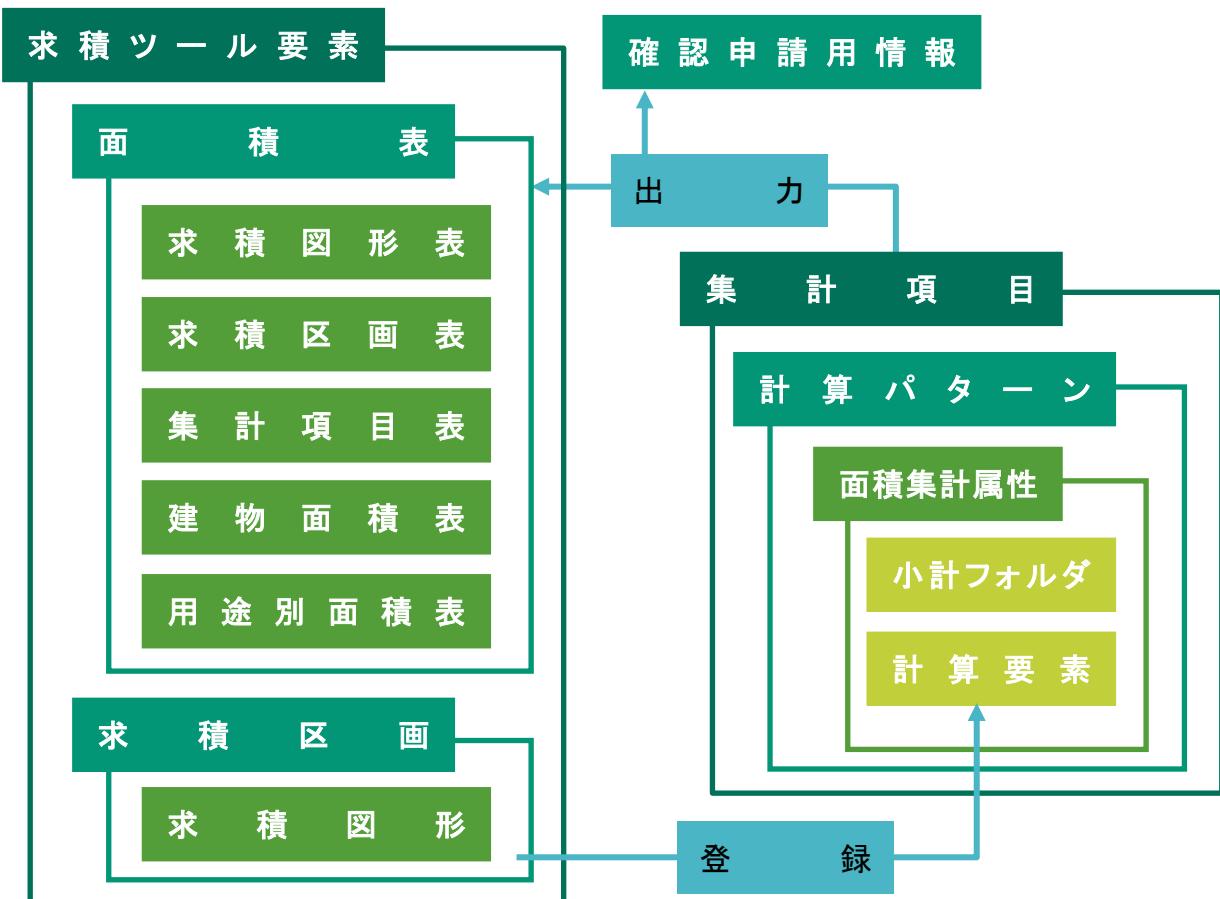
○ 本システムでの主な操作のワークフローです。



1-4 用語の定義

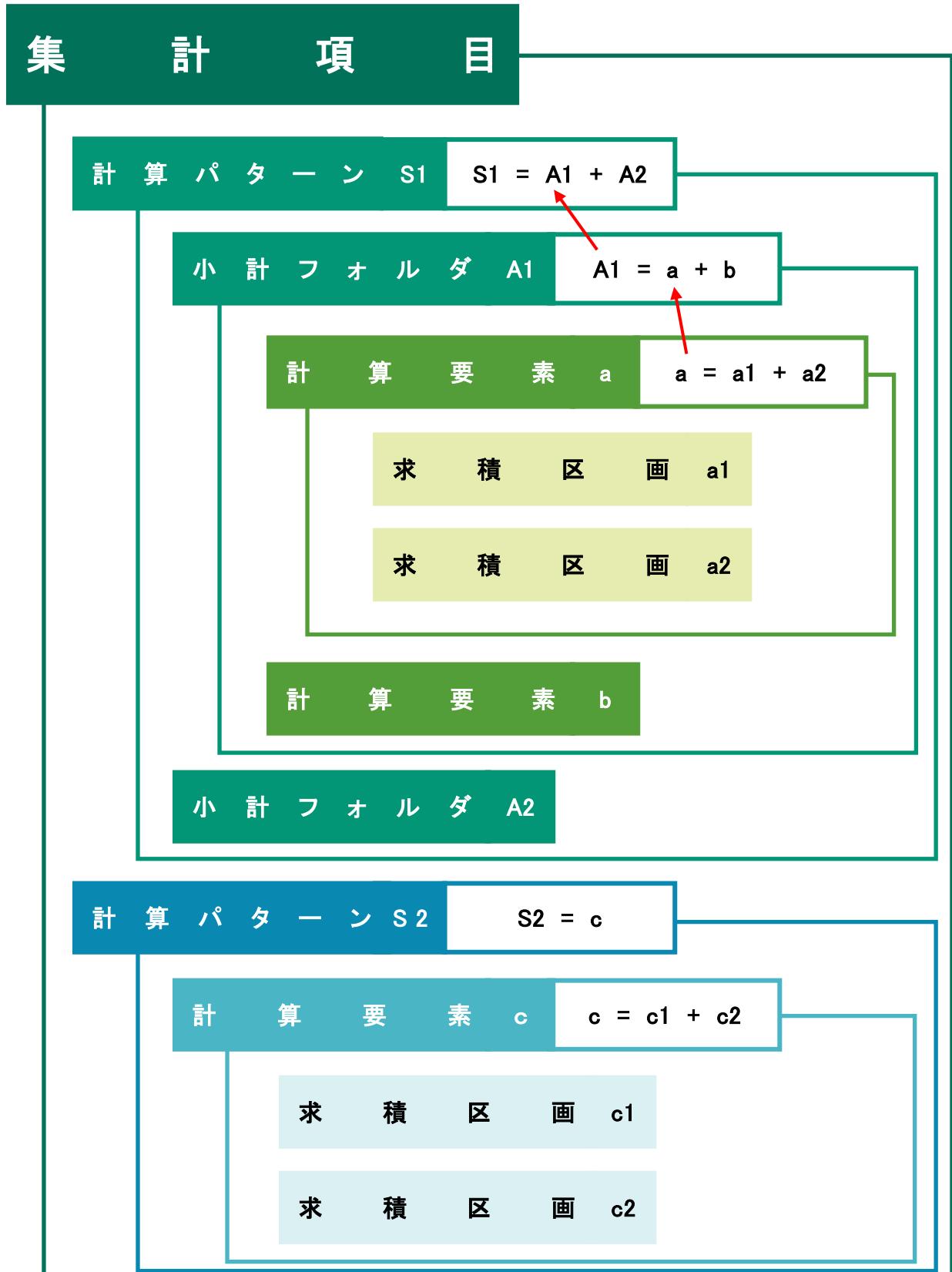
○ 本システムで使用する用語の定義です。

用語	概要
集計項目	面積表の基となるもので、ツリー形式で構成されます
計算パターン	集計項目ツリーの2層目の小計フォルダです 計算パターンごとに建物面積表を出力します
面積集計属性	面積集計の器となるもので集計項目のツリーを構成します 「小計フォルダ」と「計算要素」が含まれます
	小計フォルダ 下層に含まれる小計フォルダまたは計算要素の面積を集計します
	計算要素 求積区画を登録し、面積を集計します
求積区画	部屋またはエリアを面積集計の対象として登録した概念上の区画です 集計項目に登録することで、面積が集計されます 求積図形で分割されます
	求積図形 求積区画の形状に応じて、自動的に求積図形が作成されます 計算式および面積が自動計算されます
求積ツール要素	本システムで作成する要素です 求積図形、記号・番号、寸法、各種面積表が含まれます
記号・番号	面積集計属性および求積図形を識別します 記号タイプと番号タイプの組み合わせで構成されます



1-5 集計項目について

- 本システムでは、集計項目によって面積を集計し、計算パターンを面積表として出力します。
- 集計項目は面積集計属性によって、ツリー形式に構成されます。
- 階層が上の面積集計属性は、階層が下の面積集計属性または求積区画の面積を集計します。



- 前ページの図の集計項目及び求積区画の登録は下図のようになります。



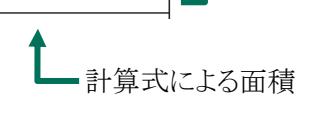
1-6 面積表について

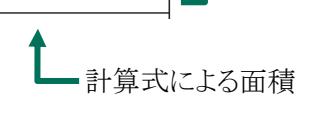
- 本システムでは5種類の面積表がoutputできます。

1-6-1 求積図形面積表

記号		面積	
①	13.775×4.000	55.100000	
②	1.000×2.000	2.000000	
③	3.000×2.000	6.000000	

 求積図の記号・番号

 計算式

 計算式による面積

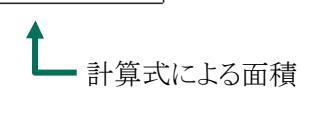
 求積図形

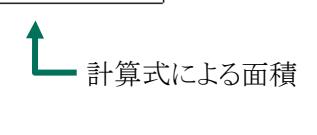
1-6-2 求積区画面積表

部屋			
記号	計算式	面積	
①	1.200×10.775	12.930000	
②	2.575×8.775	22.595625	
	合計	35.525625	

 求積区画の基となった部屋またはエリアの名前

 求積図の記号・番号

 計算式

 計算式による面積

 求積図形

 求積区画

1-6-3 集計項目面積表

○ 計算要素は2種類の出力形式があります。

1-6-3-1 小計フォルダ

記号	小計フォルダ	面積	
I	$1+2$	78.32500	端数処理前合計
	合計	78.3250	端数処理後合計

↑ 計算式
↑ 計算式による面積
↑ 小計フォルダの記号・番号

1-6-3-2 計算要素—計算式集計

記号	計算要素	面積	
1	$①+②+③$	28.32500	端数処理前合計
	合計	28.32500	端数処理後合計

↑ 計算式
↑ 計算式による面積
↑ 計算要素の記号・番号

1-6-3-3 計算要素—一覧表集計

記号	計算要素	面積	
①	1.000×2.000	2.000000	
②	3.000×2.000	6.000000	
③	6.775×3.000	20.325000	
1	合計	28.325000	求積図形
	合計	28.32500	端数処理前合計

↑ 計算式
↑ 計算式による面積
↑ 計算要素の記号・番号

↑ 端数処理後合計

1-6-4 建物面積表

○ 計算パターンごとに出力されます。

計算パターン名

計算パターン1	計算パターン1			
	計算要素1		小計フォルダ	
	計算要素1	計算要素2		
1FL	28.32500	49.70063	78.0256	78.03
基準階	170.00000	214.02438	384.0244	384.03
合計	198.32500	263.72501	462.0500	462.06

各ビューの面積の合計
= 全てのビューの面積の合計
= 建物面積
計算パターン
小計フォルダ
計算要素
ビュー名

1-6-5 用途別面積表

○ 面積集計属性ごとに出力されます。

面積集計属性名

計算要素1	面積集計属性1	
	1FL	28.32500
基準階	170.00000	
合計	198.32500	

各ビューの面積集計属性の面積の合計
= 全てのビューの面積集計属性の面積の合計
= 用途別面積
面積
ビュー名

1-7 記号・番号について

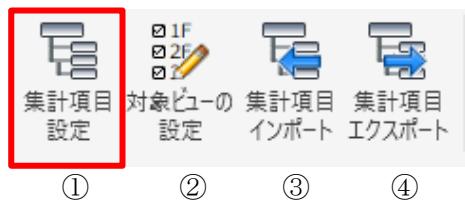
- 本システムでは、各面積集計属性や求積図形を「記号・番号」によって区別しています。
- 「記号・番号」は、「記号タイプ」と「番号タイプ」の組み合わせです。
- 番号には接頭辞をつけることも可能です。

記号タイプ	番号タイプ	組み合わせ例
○	1,2,3	①
□	A,B,C	A
◇	a,b,c	◆a
◎	ア,イ,ウ	◎ア
■	イ,ロ,ハ	■イ
◆	あ,い,う	◆あ
無	い,ろ,は	い

2 集計設定

2-1 はじめに

- 集計項目に関する設定やビューの設定を行います。

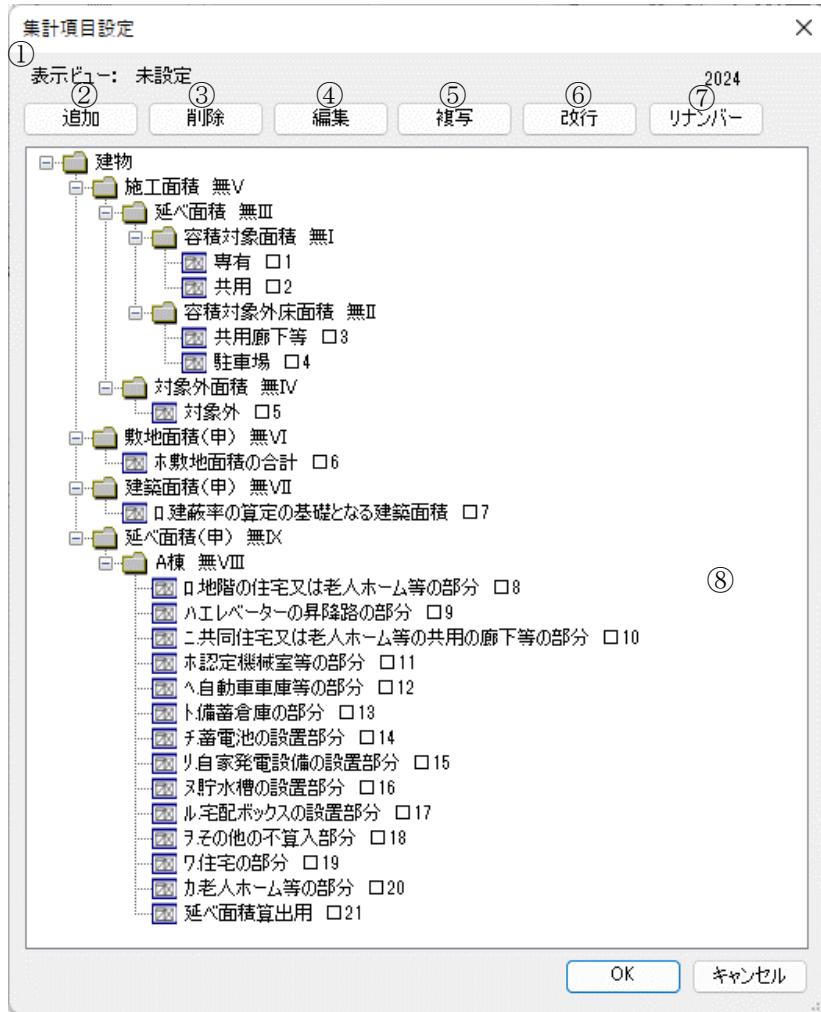


番号	項目名	内容
①	集計項目設定	集計項目を設定します
②	対象ビューの設定	作図対象ビュー及び集計対象ビューと計算パターンを設定します
③	集計項目インポート	集計項目の設定をインポートします
④	集計項目エクスポート	集計項目の設定をエクスポートします

2-2 集計項目設定

- 集計項目(小計フォルダ、計算要素)を設定します。
- 計算パターンは複数追加することができます。
- 対象ビューの設定で選択できる計算パターンは1つとなります。
- 新規図面で開いた場合、確認申請用計算パターンを利用できます。

2-2-1 「集計項目設定」ダイアログ



番号	項目名	内容
①	選択ビュー表示	対象ビューの設定において集計設定を行っている場合、選択中のビューを表示します
②	追加	面積集計属性を追加します
③	削除	面積集計属性を削除します
④	編集	面積集計属性を編集します
⑤	複写	面積集計属性を複写します
⑥	改行	小計フォルダ、計算要素の計算式の改行を設定します
⑦	リナンバー	面積集計属性の記号・番号をリナンバリングします
⑧	集計項目リスト	集計項目の構成を表示します

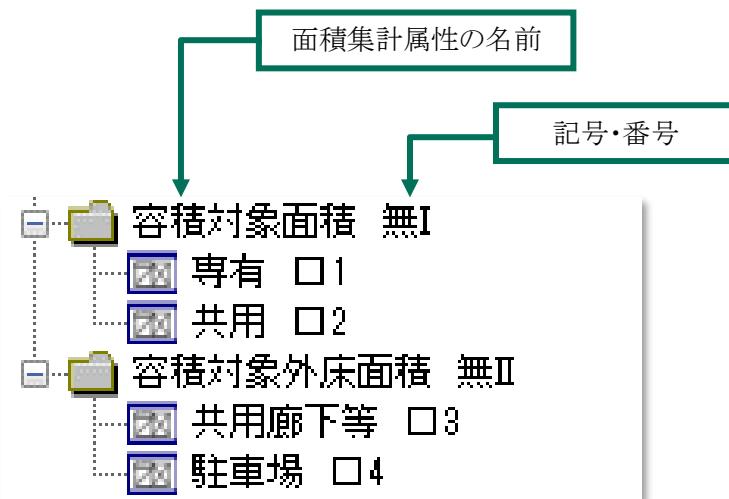
2-2-2 集計項目の見方

2-2-2-1 面積集計属性について

- 面積集計属性は「小計フォルダ」及び「計算要素」が含まれます。
- 小計フォルダは、下層に含まれる小計フォルダまたは計算要素の面積を集計します。
- 計算要素は、登録した求積区画の面積を集計します。
- 小計フォルダと計算要素はアイコンの表示が異なります。
- 計算要素の集計面積を「求積区画」「任意入力」設定によりアイコン表示が異なります。

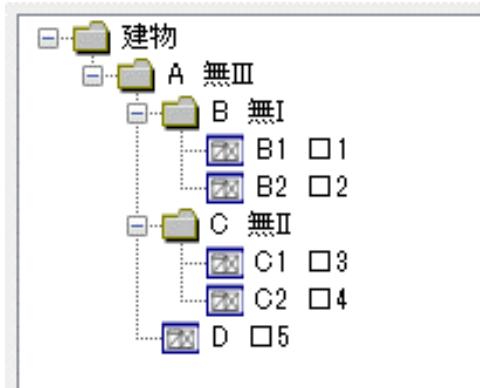
	小計フォルダ
 123	計算要素

- 面積集計属性は「面積集計属性の名前」+「記号・番号」で表示されます。



2-2-2-2 集計対象について

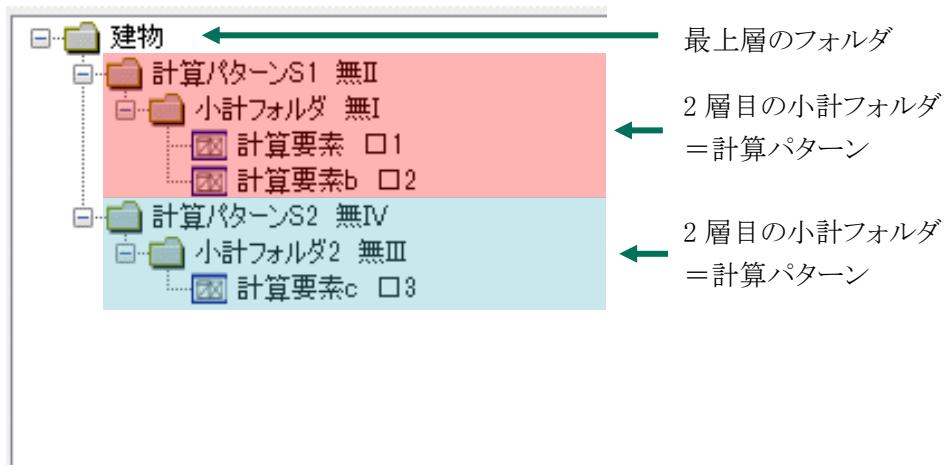
- 下図の集計項目の場合、各面積集計属性の集計対象の面積集計属性は下記の通りです。



名前	面積集計属性	式
A	小計フォルダ	$B+C+D$
B	小計フォルダ	$B1+B2$
C	小計フォルダ	$C1+C2$
B1、B2、C1、C2、D	計算要素	登録された求積区画による

2-2-3 計算パターン

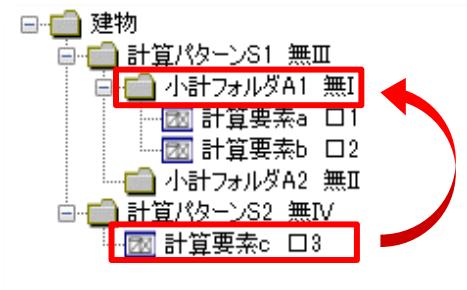
- 集計項目ツリーの2層目の小計フォルダです。
- 複数の計算パターンを作成することができます。
- 計算パターンごとに建物面積表を出力します。



2-2-4 集計項目の構成を変更する

[操作手順]

- 「集計項目リスト」より、構成を変更する面積集計属性をドラッグ & ドロップで移動します。



例.計算要素「c」を、小計フォルダ「A1」に
ドラッグ & ドロップ



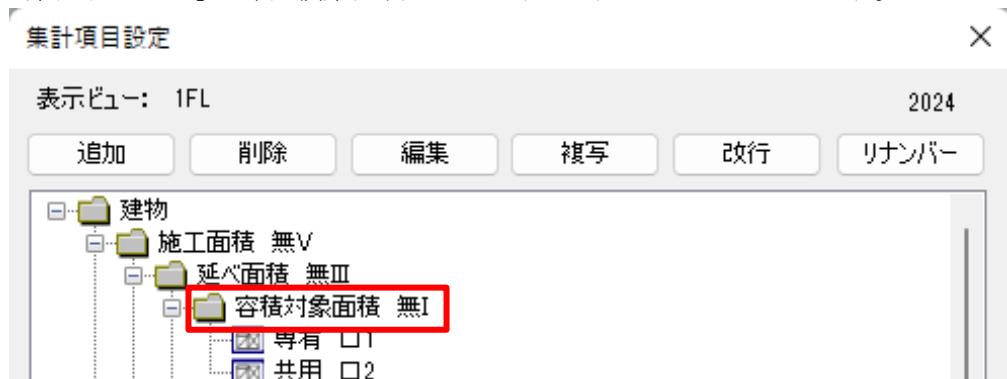
小計フォルダ「A1」の下層に、計算要素「c」
が移動します

2-2-5 面積集計属性を追加する

- 小計フォルダの下層に面積集計属性を追加します。

[操作手順]

- 1) 「集計項目リスト」より、面積集計属性を追加する小計フォルダを選択します。



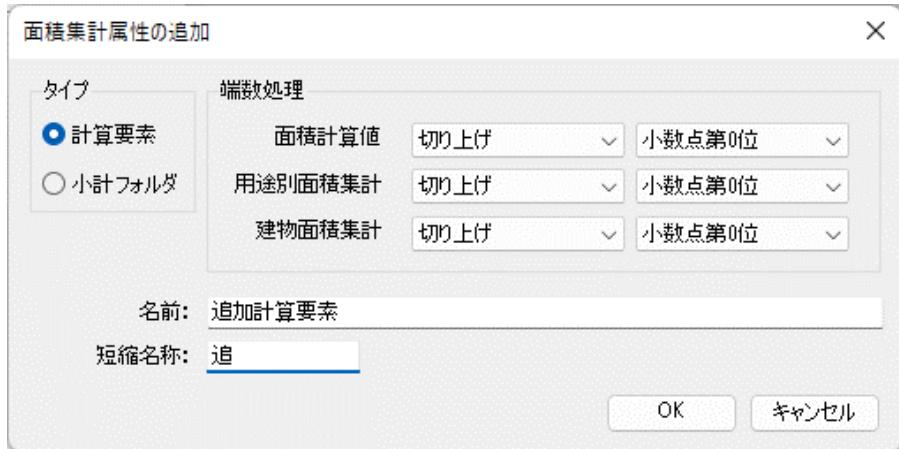
- 2) 「追加」を選択します。

- 3) 「面積集計属性の追加」ダイアログが開きます。



番号	項目名	内容	
①	タイプ	追加する面積集計属性のタイプを選択します	
②	端数処理	面積計算値	追加する面積集計属性の端数処理及び端数表示桁数を選択します
		用途別面積集計	集計項目面積表に反映されます
		建物面積集計	集計項目面積表、建物面積表、用途別面積表に反映されます
		名前	面積集計属性の名前を設定します
④	短縮名称	面積集計属性の面積表に表記される短縮名称を設定します	

4) 各項目を選択、設定します。



5) 「OK」を選択します。

6) 選択した小計フォルダの下層に面積集計属性が追加されます。



2-2-6 面積集計属性を削除する

- 選択した面積集計属性を削除します。
- 最上層のフォルダは削除できません。

[操作手順]

- 1) 「集計項目リスト」より、削除する面積集計属性を選択します。
- 2) 「削除」を選択します。



- 3) 選択した面積集計属性が削除されます。

2-2-7 面積集計属性を編集する

- 選択した面積集計属性を編集します。
- 小計フォルダ及び計算要素で設定が異なります。

2-2-7-1 小計フォルダを編集する

[操作手順]

- 1) 「集計項目リスト」より、編集する小計フォルダを選択します。
- 2) 「編集」を選択します。



- 3) 「小計フォルダの編集」ダイアログが開きます。



番号	項目名	内容	
①	小計フォルダ名	選択した小計フォルダ名を編集します	
②	短縮名称	選択した小計フォルダの面積表に表記される短縮名称を設定します	
③	端数処理	選択した小計フォルダの端数処理及び端数表示桁数を選択します	
	用途別面積集計	集計項目面積表、建物面積表、用途別面積表に反映されます	
	建物面積集計	建物面積表、用途別面積表に反映されます	
④	記号	選択した小計フォルダの記号を選択します	
⑤	番号	選択した小計フォルダの番号を選択します	

- 4) 各項目を設定します。
- 5) 「OK」を選択します。

2-2-7-2 計算要素を編集する

[操作手順]

- 1) 「集計項目リスト」より、編集する計算要素を選択します。
- 2) 「編集」を選択します。



- 3) 「計算要素の編集」ダイアログが開きます。



番号	項目名	内容	
①	計算要素名	選択した計算要素名を編集します	
②	短縮名称	選択した計算要素の面積表に表記される短縮名称を設定します	
③	端数処理	追加する面積集計属性の端数処理及び端数表示桁数を選択します	
		面積計算値	集計項目面積表に反映されます
		用途別面積集計	集計項目面積表、建物面積表、用途別面積表に反映されます
		建物面積集計	建物面積表、用途別面積表に反映されます
④	集計面積	集計する面積を選択します	
		自動区画	選択した計算要素に割り当てた求積区画を自動で集計します
		任意入力	計算式及び面積を任意設定します
⑤	計算要素	選択した計算要素の記号・接頭辞・番号を選択します	
⑥	図形	選択した計算要素に割り当てた求積図形の記号・接頭辞・番号を選択します	
⑦	記号	選択した計算要素の記号を設定します	
⑧	番号の接頭辞	選択した計算要素の番号の接頭辞を設定します	
⑨	番号	選択した計算要素の番号を設定します	
⑩	符号	選択した計算要素の符号を選択します	
⑪	種類	計算要素面積表の表示の種類を選択します	
⑫	改行	改行方法を選択します	
⑬	色	選択した計算要素の色を設定します	

4) 各項目を設定します。

5) 「OK」を選択します。

2-2-7-3 短縮名称について

- 面積表で表記される短縮名称を任意で設定可能です。
- 短縮文字は全角 5 文字以内となります。

2-2-7-4 端数処理について

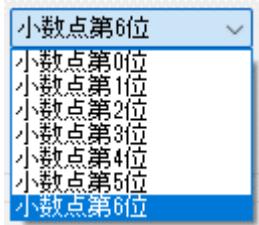
- 選択した端数表示桁数+1 を端数処理対象桁で、選択した端数処理を行います。



2-2-7-5 端数表示桁数について

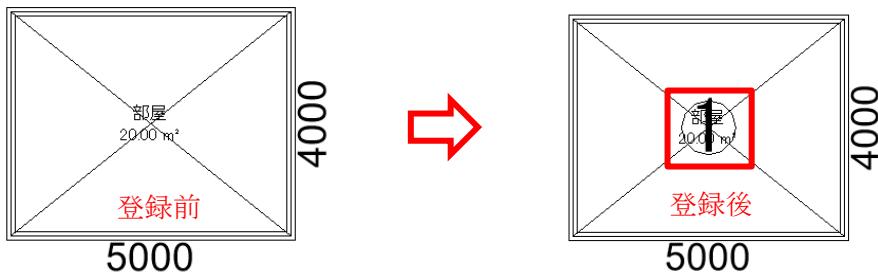
- 選択した端数表示桁数で各種面積表に表示します。

- 小数点第 0 位から小数点第 6 位まで選択できます。



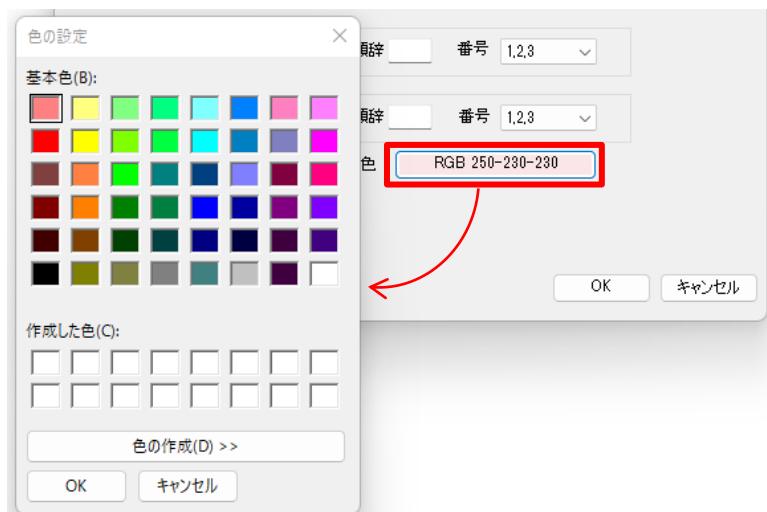
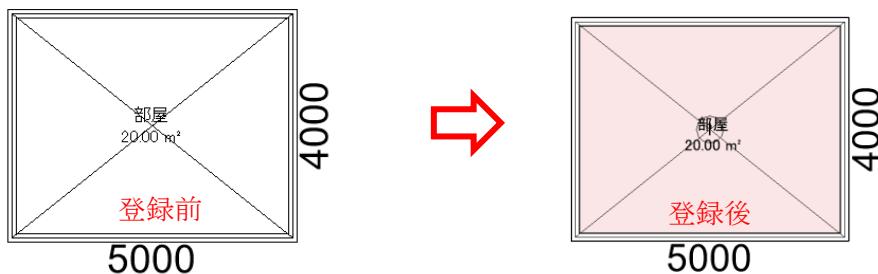
2-2-7-6 計算要素に登録した求積図形の記号・番号について

- 求積区画を求積計算要素として集計項目に登録すると、「計算要素の編集」ダイアログで選択した「図形」の「記号・番号」が求積図形に適用されます。



2-2-7-7 色について

- 求積区画を求積計算要素として集計項目に登録すると、「計算要素の編集」ダイアログで選択した「図形」の「色」が求積区画に適用されます。



2-2-7-8 計算要素面積表の表示の種類について

- 「計算式集計」または「一覧表集計」を選択できます。

・計算式集計

記号	計算要素	面積
1	(1)+(2)+(3)	28.325000
	合計	28.32500

・一覧表集計

記号	計算要素	面積
①	1.000 × 2.000	2.000000
②	3.000 × 2.000	6.000000
③	6.775 × 3.000	20.325000
1	合計	28.325000
	合計	28.32500

2-2-8 小計フォルダを複写する

- 選択した小計フォルダを同一階層に複写します。
○ 選択した小計フォルダの下層の面積集計属性を含めて複写します。

[操作手順]

- 1) 「集計項目リスト」より、複写する小計フォルダを選択します。
- 2) 「複写」を選択します。



- 3) 選択した小計フォルダが複写されます。
※複写された小計フォルダ名は、「小計フォルダ名 コピー」となります。

2-2-9 面積集計属性の計算式の改行を設定する

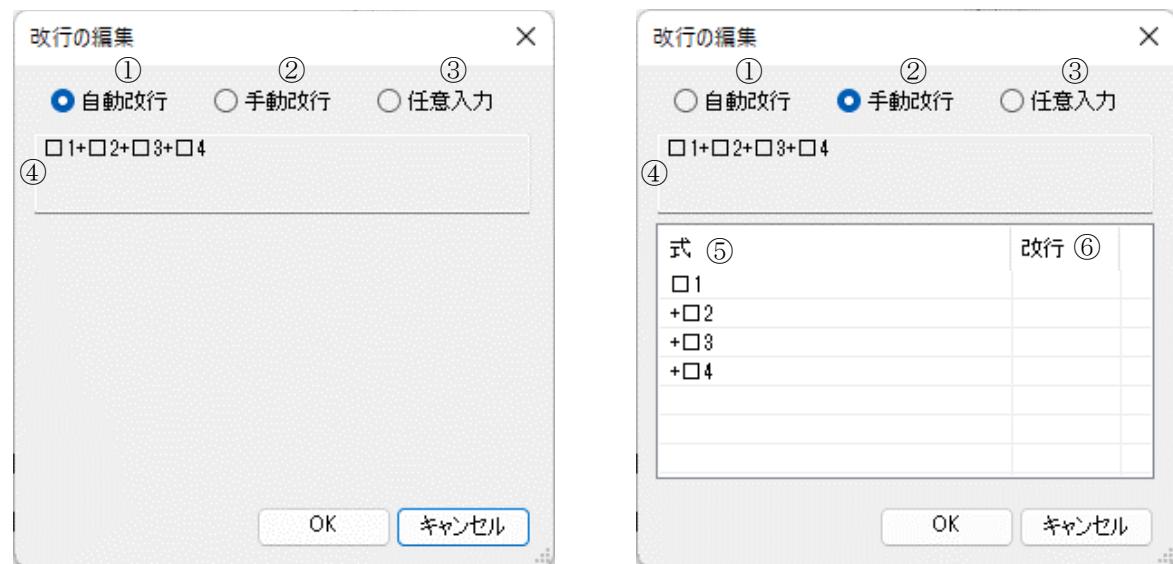
- 面積集計属性の計算式の改行を編集します。
- 計算要素は求積区画が登録されている場合のみ編集が可能です。
- 集計項目面積表に反映されます。

[操作手順]

- 1) 「集計項目リスト」より、改行を編集する面積集計属性を選択します。
- 2) 「改行」を選択します。



- 3) 「改行の編集」ダイアログが開きます。



- 4) 各項目を設定します。
- 5) 「OK」を選択します。

番号	項目名	内容
①	自動改行	面積表の列幅に合わせて自動で改行します
②	手動改行	計算式内の任意の位置で改行します
③	任意入力	計算式に任意の文字列を表示します 小計フォルダを選択した場合のみ設定できます
④	計算式プレビュー	計算式をプレビュー表示します
⑤	式	計算式の符号及び記号・番号を表示します
⑥	改行	手動改行を選択した場合に、改行する位置にチェックを入れます

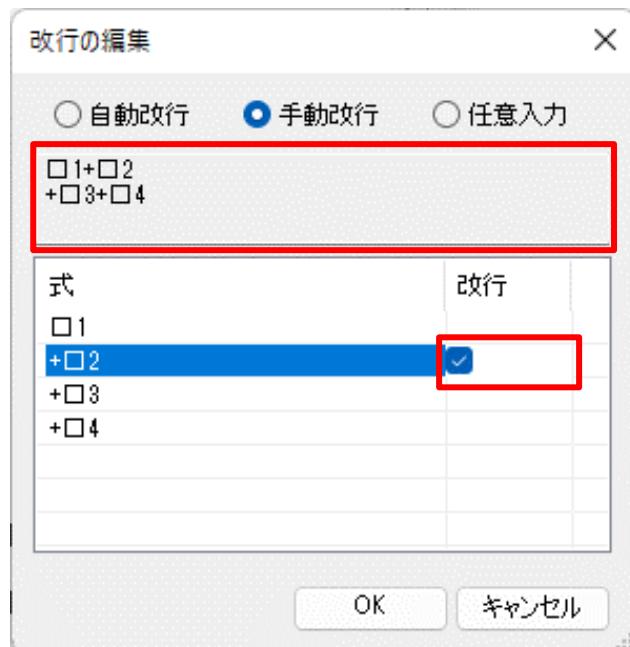
2-2-9-1 面積集計属性の計算式を手動改行する

[操作手順]

- 1) 「集計項目リスト」より、改行を編集する面積集計属性を選択し、「改行の編集」ダイアログを開きます。
- 2) 「手動改行」を選択します。



- 3) 改行する式の「改行」にチェックを入れます。



※「計算式プレビュー」で改行を確認することができます。

- 4) 「OK」を選択します。

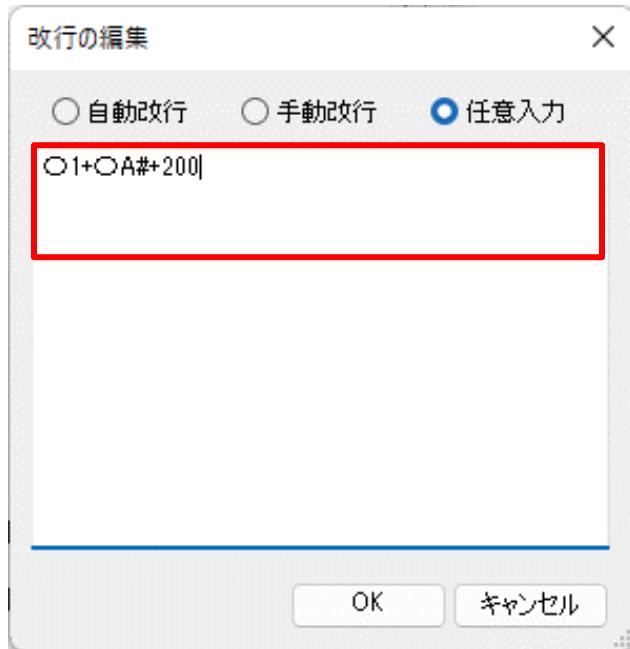
2-2-9-2 小計フォルダの計算式を任意設定する

[操作手順]

- 1) 「集計項目リスト」より、計算式を任意設定する小計フォルダを選択し、「改行の編集」ダイアログを開きます。
- 2) 「任意入力」を選択します。



3) 任意の文字列を入力します。



※改行をする場合は「#」を入力します。

※記号・番号を使用する場合、下表の指定の文字列を入力します。

4) 「OK」を選択します。

指定文字列	システム表示	入力例
○	1重○	○1～○10
□	1重□	□1～□10
◇	1重◇	◇1～◇10
◎	2重○	◎1～◎10
■	2重□	■1～■10
◆	2重◇	◆1～◆10
無	記号無	無1～無10

2-2-10 面積集計属性の記号・番号をリナンバリングする

- 面積集計属性の「記号」または「番号」を変更した場合に、リナンバリングを行います。

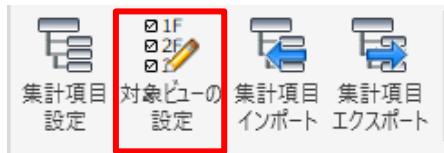
[操作手順]

- 1) 「リナンバー」を選択します。

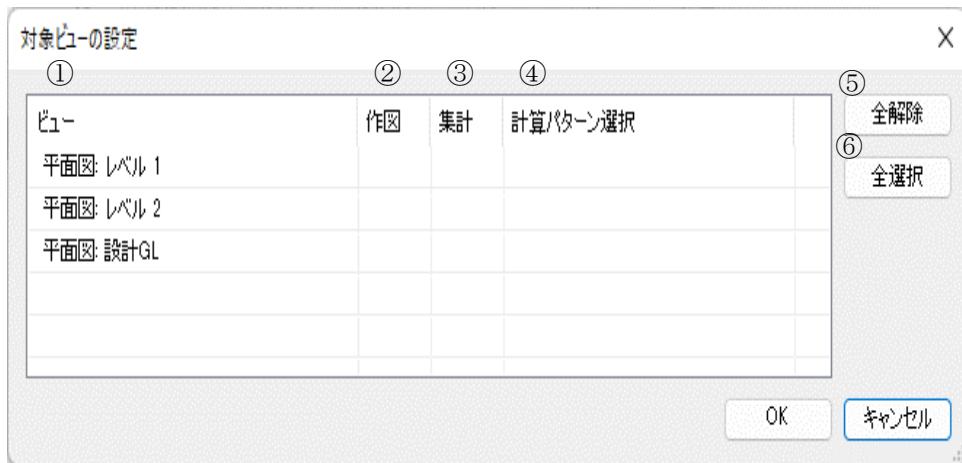


2-3 対象ビューの設定

- 作図対象ビュー及び集計対象ビューと計算パターンを設定します。
- 平面図ビューまたはエリアプランビューが対象です。



2-3-1 「対象ビューの設定」ダイアログ



番号	項目名	内容
①	ビュー	平面図ビュー及びエリアプランビューを表示します
②	作図	チェックを入れると、求積図形作成の対象ビューとします
③	集計	チェックを入れると、面積集計の対象ビューとします
④	計算パターン選択	計算パターンをプルダウンから選択します
⑤	全解除	全てのビューの選択を解除します
⑥	全選択	全てのビューを選択します

2-3-2 求積図形を作図・集計する対象ビューを設定する

[操作手順]

- 1) 求積図形作成の対象ビューとするビューを選択します。



※ShiftキーまたはCtrlキーを押しながら選択すると、複数選択が可能です。

- 2) 「作図」及び「集計」にチェックを入れます。



※「集計」をチェックする際に「作図」にチェックが入っていない場合、「作図」にチェックが入ります。

2-3-3 対象ビューに計算パターンを設定する

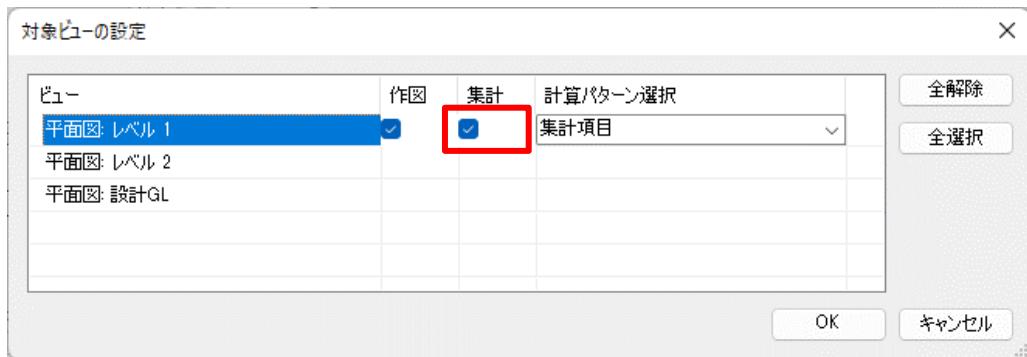
[操作手順]

- 1) 面積集計の対象ビューとするビューを選択します。



※Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら選択すると、複数選択が可能です。

- 2) 「集計」にチェックを入れます。



※「作図」にチェックが入っていない場合、「作図」にチェックが入ります。

- 3) 計算パターン選択のプルダウンより計算パターンを選択します。



※計算パターンは、集計項目設定にて設定してください。

※「集計」にチェックを入れた場合、計算パターン選択は必須となります。

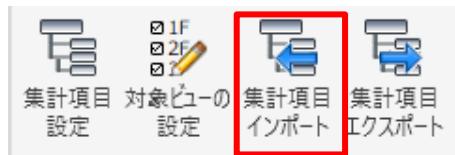
2-4 集計項目インポート・エクスポート

○ 集計項目設定を、「集計項目ファイル(.treeList)」形式でインポートまたはエクスポートします。

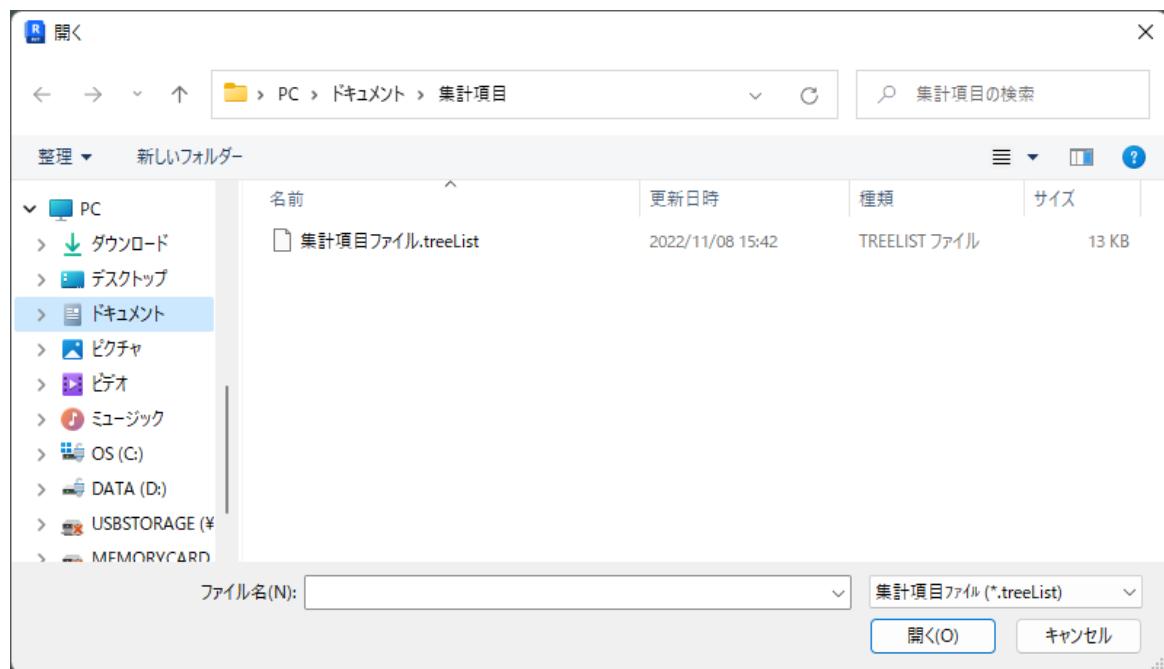
2-4-1 集計項目をインポートする

[操作手順]

1) 「集計項目インポート」を選択します。



2) 「開く」ダイアログが開きます。



3) インポートするファイルを選択します。

4) 「開く」を選択します。

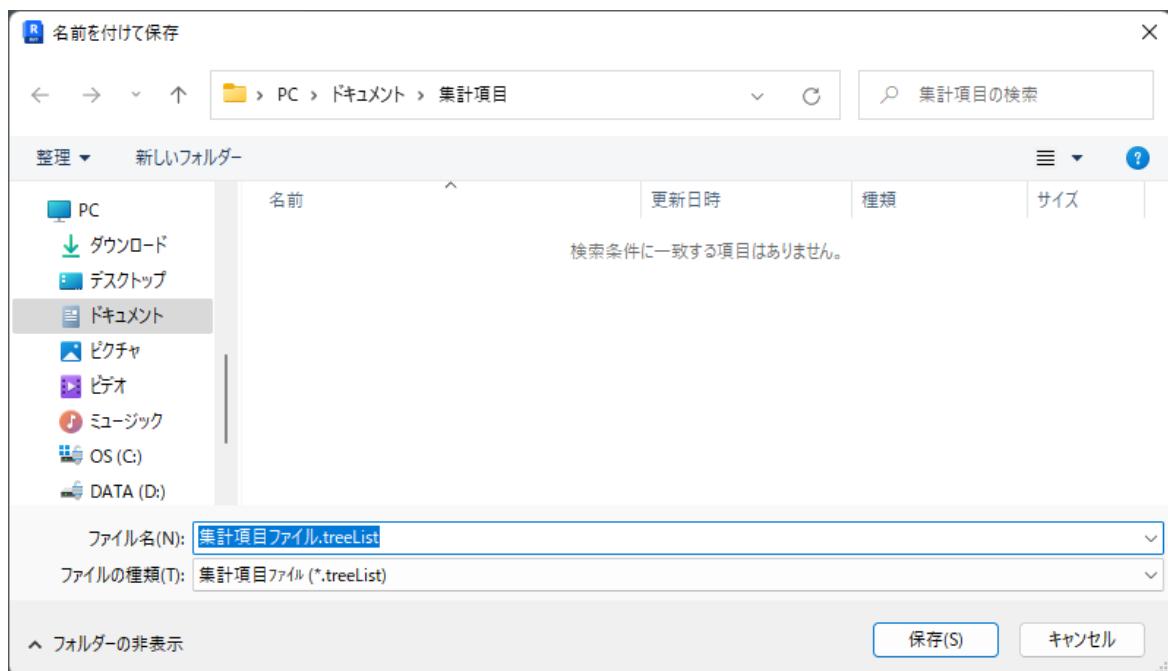
2-4-2 集計項目をエクスポートする

[操作手順]

- 1) 「集計項目エクスポート」を選択します。



- 2) 「名前を付けて保存」ダイアログが開きます。



- 3) ファイルを保存する場所、ファイル名を設定します。

- 4) 「保存」を選択します。

3 求積図形設定

3-1 はじめに

- Revit の部屋またはエリアを面積集計の基となる求積区画に登録し、求積図形を作成します。
- 選択したビューが求積図形作成の対象ビューとなっている必要があります。

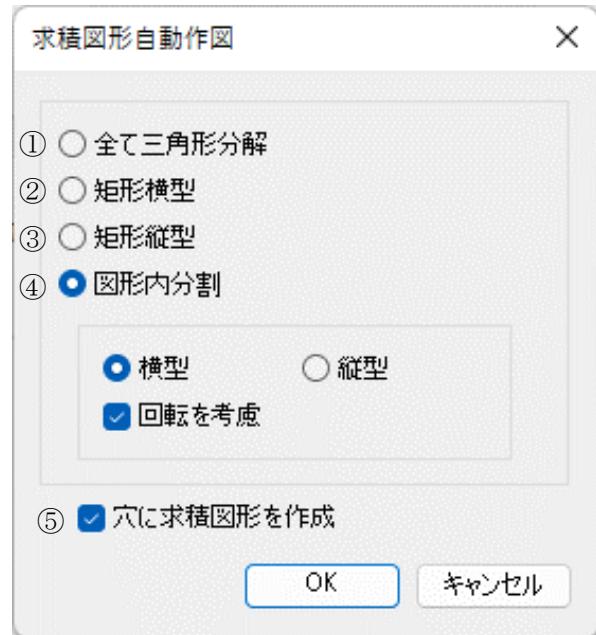


番号	項目名	内容
①	求積図形自動作図	部屋またはエリアを求積区画に登録し、求積図形を自動作成します
②	求積図形削除	求積区画の登録を解除し、求積図形を削除します
③	求積図形更新	求積区画及び求積図形を更新します
④	集計項目に登録	求積区画を集計項目に登録します
⑤	求積図形一覧	求積図形を一覧で表示します 求積図形の番号の再設定が可能です

3-2 求積図形自動作図

○ 選択した部屋またはエリアを求積区画に登録し、求積図形を作成します。

3-2-1 「求積図形自動作図」ダイアログ

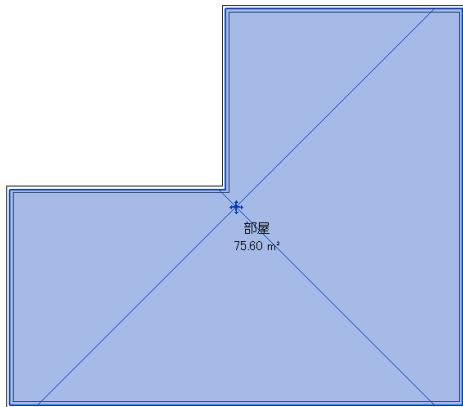


番号	項目名	内容	
①	全て三角形分解	全て三角形で求積区画を分割し、求積図形を生成します	
②	矩形横型	横方向に連続する矩形を優先して求積区画を分割し、求積図形を生成します	
③	矩形縦型	縦方向に連続する矩形を優先して求積区画を分割し、求積図形を生成します	
④	図形内分割	不整形な要素に対して求積区画を生成します	
		横型	横方向に連続する矩形を優先して求積区画を分割し、求積図形を生成します 不整形部分はその形状に応じた求積図形を生成します
		縦型	縦方向に連続する矩形を優先して求積区画を分割し、求積図形を生成します 不整形部分はその形状に応じた求積図形を生成します
⑤	穴に積算図形を作成	回転を考慮	Revit のグローバル座標軸(X,Y)と部屋またはエリアの軸が異なる場合に、部屋またはエリアの軸を基準に縦横に求積区画を分割し、求積図形を生成します
			要素に穴がある場合に、マイナスの求積図形を作成します

3-2-2 求積図形を作成する

[操作手順]

- 1) 求積区画に登録する部屋またはエリアを選択します。

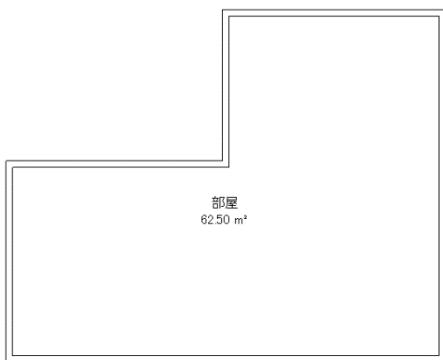


- 2) 「求積図形自動作図」を選択します。

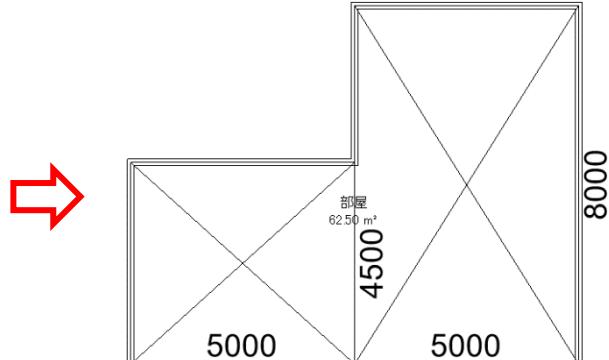


- 3) 「求積図形自動作図」ダイアログが開きます。
- 4) 求積図形自動作図の方法を選択します。
- 5) 「OK」を選択します。
- 6) 部屋またはエリアが求積区画に登録され、求積区画を分割した求積図形が作成されます。

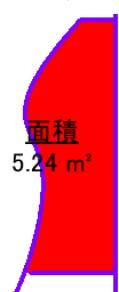
・求積図形自動作図前



・求積図形自動作図後



※部屋またはエリアが複雑な形状である場合、求積図形が正しく作成できないケースがあります。その場合、対象の部屋またはエリアを赤く表示します。



3-2-2-1 求積図形自動作図の方法について

元図形	全て三角形分解	矩形縦型
矩形横型	図形内分解	
	横型	縦型
回転を考慮		
チェック有り		
チェック無		
穴に求積区画を作成		
チェック有り		
チェック無		

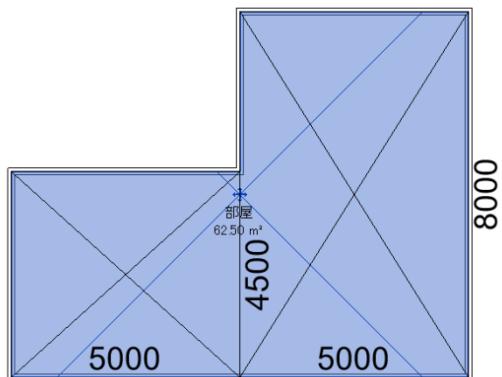
3-3 求積図形削除

- 選択した求積区画の登録を解除し、求積図形を削除します。

3-3-1 求積図形を削除する

[操作手順]

- 1) 求積図形を削除する部屋またはエリアを選択します。

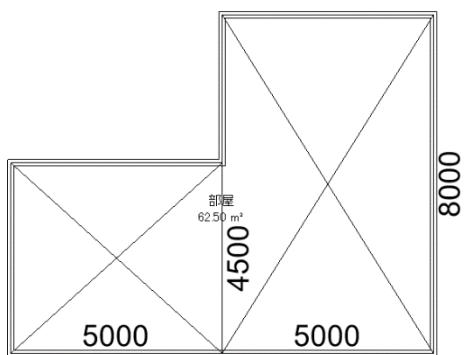


- 2) 「求積図形削除」を選択します。

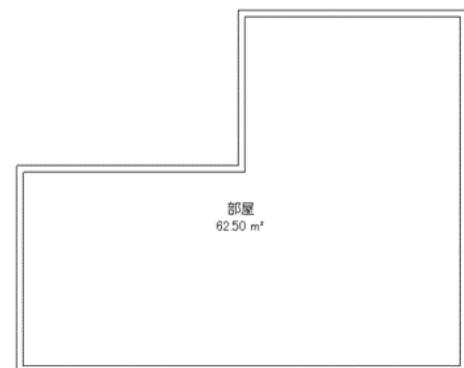


- 3) 求積区画の登録が解除され、求積図形が削除されます。

・求積図形削除前



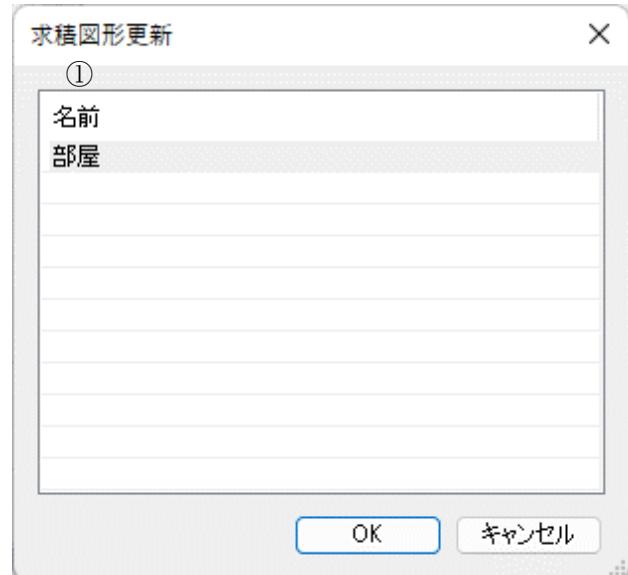
・求積図形削除後



3-4 求積図形更新

○ 求積区画に登録した部屋またはエリアに変更がある場合、求積図形を更新します。

3-4-1 「求積図形更新」ダイアログ

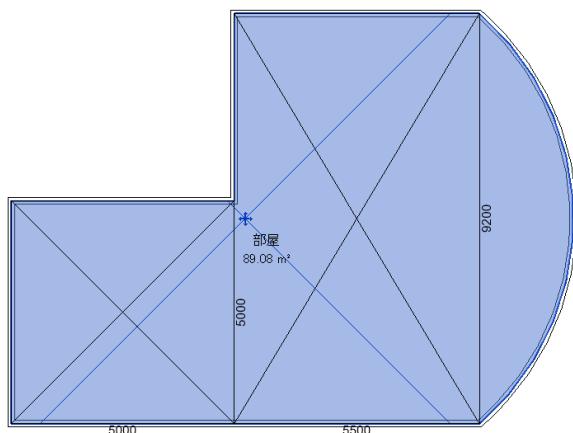


番号	項目名	内容
①	名前	選択した求積区画の名前を表示します

3-4-2 求積図形を更新する

[操作手順]

1) 求積図形を更新する求積区画の部屋またはエリアを選択します。

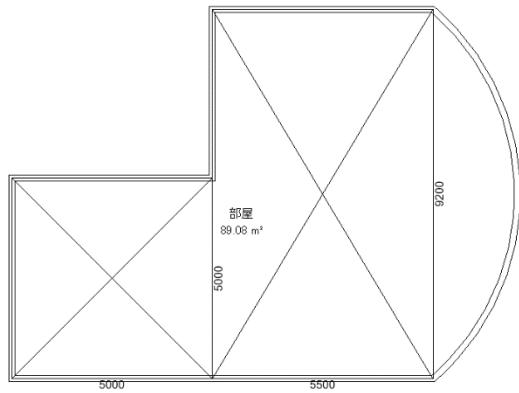


2) 「求積図形更新」を選択します。

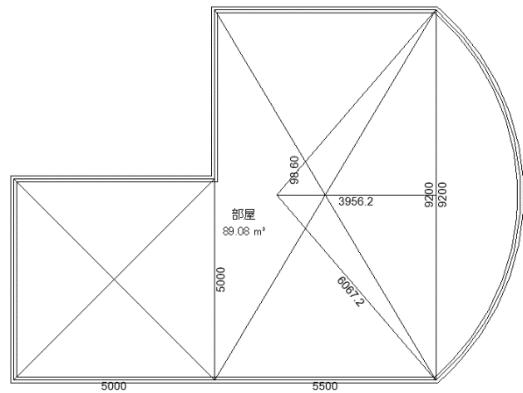


-
- 3) 「求積図形更新」ダイアログが開きます。
 - 4) 「OK」を選択します。
 - 5) 求積図形が更新されます。

・求積図形更新前



・求積図形更新後

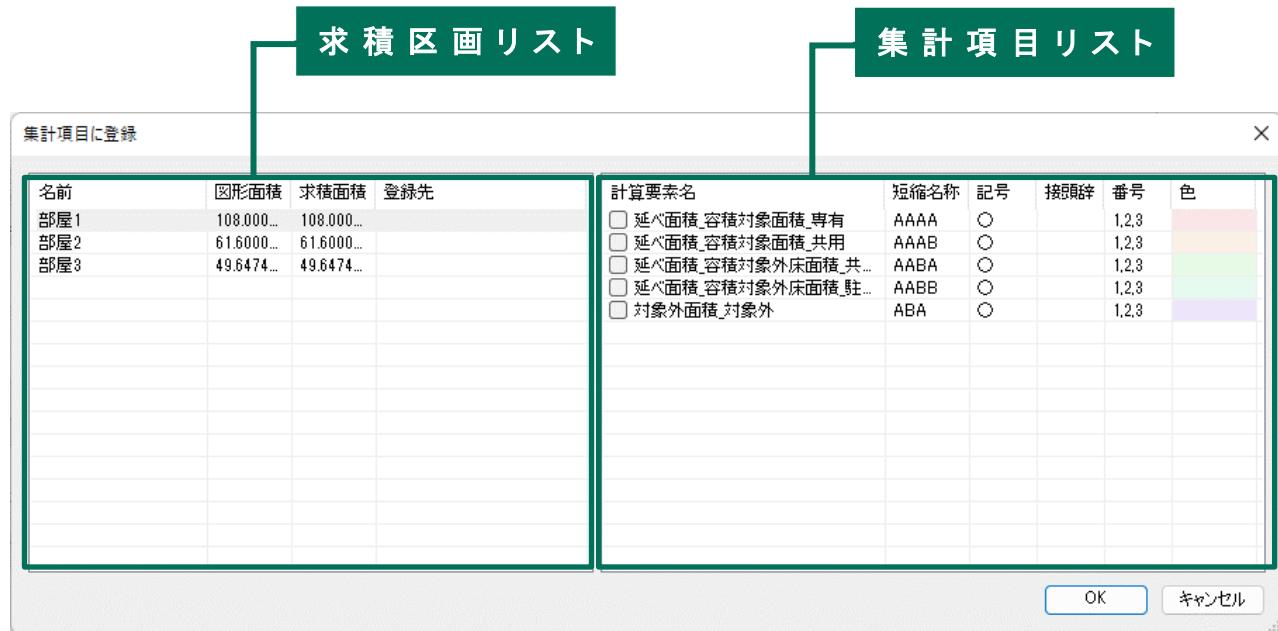


3-5 集計項目に登録

○ 求積区画を集計項目に登録します。

3-5-1 「集計項目に登録」ダイアログ

○ 「集計項目に登録」ダイアログは、選択した求積区画を表示する「求積区画リスト」と、集計項目の計算要素を表示する「集計項目リスト」で構成されます。



3-5-1-1 求積区画リスト



番号	項目名	内容
①	名前	選択した求積区画の名前を表示します
②	図形面積	Revit 上の求積区画の面積を表示します
③	求積面積	本システムの求積図形による求積区画の面積を表示します
④	登録先	登録先の集計項目を表示します

3-5-1-2 集計項目リスト

集計項目に登録

名前	図形面積	求積面積	登録先
部屋1	108.000...	108.000...	延べ面積_容積対象面積_...
部屋2	61.6000...	61.6000...	
部屋3	49.6474...	49.6474...	

①	②	③	④	⑤	⑥
計算要素名	短縮名称	記号	接頭辞	番号	色
<input checked="" type="checkbox"/> 延べ面積_容積対象面積_専有	AAAA	○	A	1,2,3	
<input type="checkbox"/> 延べ面積_容積対象面積_共用	AAAB	○	A	1,2,3	
<input type="checkbox"/> 延べ面積_容積対象外床面積_共...	AABA	○	B	1,2,3	
<input type="checkbox"/> 延べ面積_容積対象外床面積_駐...	AABB	○	B	1,2,3	
<input type="checkbox"/> 対象外面積_対象外	ABA	○	C	1,2,3	

番号	項目名	内容
①	計算要素名	集計項目の計算要素の名前を表示します チェックを入れると、求積区画リストで選択した求積区画が集計項目に登録されます
②	短縮名称	集計項目に求積区画を登録した場合の面積表出力時の短縮名称を表示します
③	記号	集計項目に求積区画を登録した場合の記号を表示します
④	接頭辞	集計項目に求積区画を登録した場合の番号の接頭辞を表示します
⑤	番号	集計項目に求積区画を登録した場合の番号を表示します
⑥	色	集計項目に求積区画を登録した場合の色を表示します 色の編集も可能です

3-5-2 集計項目に求積区画を登録

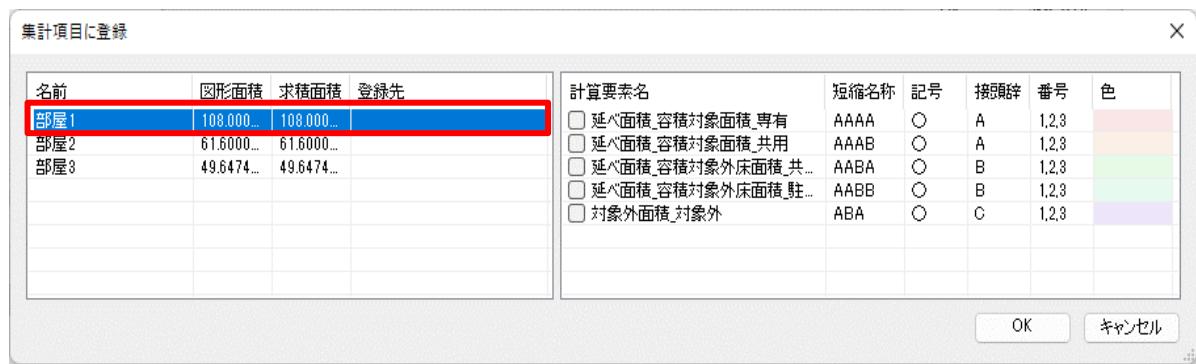
[操作手順]

- 1) 集計項目に登録する求積区画の部屋またはエリアを選択します。
- 2) 「集計項目に登録」を選択します。



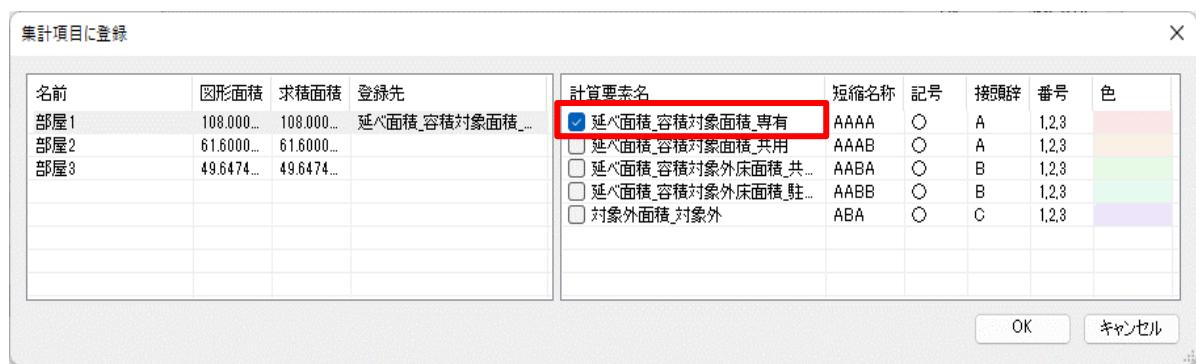
- 3) 「集計項目に登録」ダイアログが開きます。

- 4) 「求積区画リスト」より、集計項目に登録する求積区画を選択します。

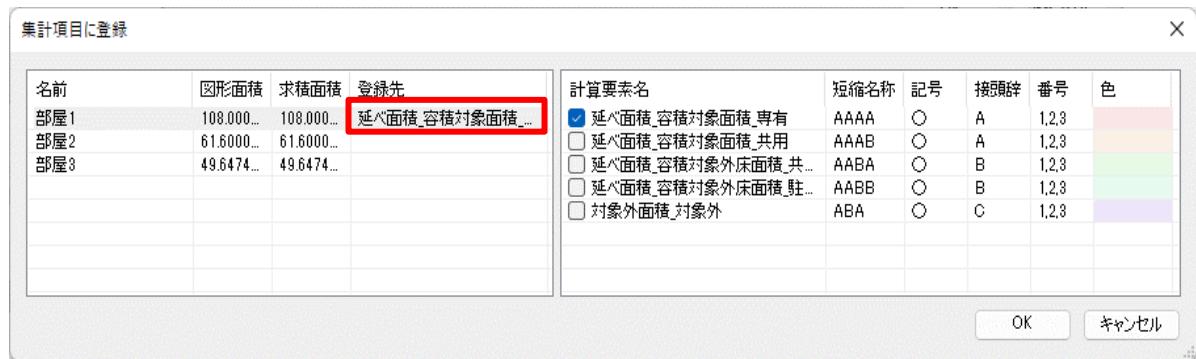


※Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら選択すると、複数選択が可能です。

- 5) 「集計項目リスト」より、登録する集計項目の「名前」にチェックを入れます。



- 6) 選択した求積区画の「登録先」に、集計項目リストでチェックを入れた計算要素名が表示されます。



- 7) 「OK」を選択します。

3-6 求積図形一覧

○ 求積図形を一覧で表示します。また求積図形の番号の再設定が可能です。

3-6-1 「求積図形一覧」ダイアログ

○ 「求積図形一覧」ダイアログは、求積図形の記号番号、計算式、計算要素が一覧で表示されます。



番号	項目名	内容
①	ドラッグ&ドロップでリナンバリング	チェックをいれるとドラッグ&ドロップで移動した求積図形を自動リナンバリングします
②	開始番号設定	選択した求積図形の番号の開始を設定します
③	記号	求積図形の記号を表示します
④	接頭辞	求積図形の接頭辞を表示します
⑤	番号	求積図形の番号を表示します
⑥	記号番号	求積図形の記号番号を表示します
⑦	計算式	求積図形の計算式を表示します
⑧	面積	求積図形の面積を表示します
⑨	端数処理後面積	求積図形の端数処理後面積を表示します
⑩	求積区画	求積図形の求積区画を表示します
⑪	計算要素	求積図形の計算要素を表示します

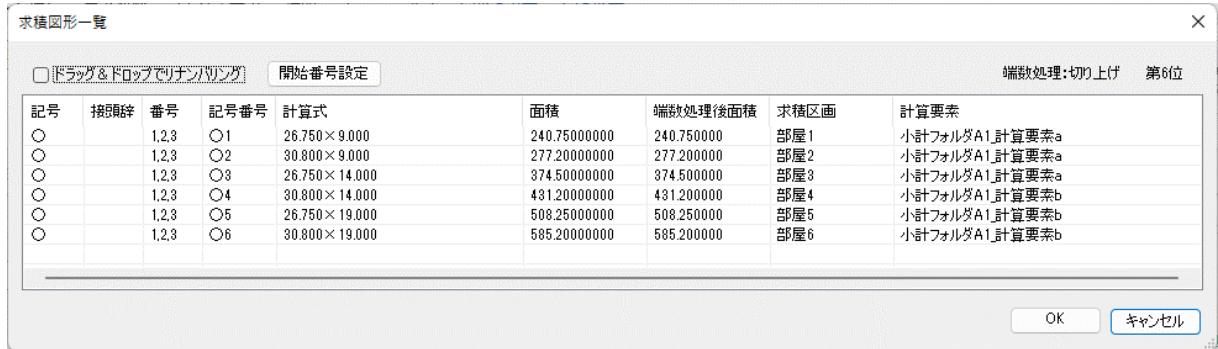
3-6-2 求積図形の記号番号の整理

[操作手順]

1) 「求積図形一覧」を選択します。



2) 「求積図形一覧」ダイアログが開きます。



3) 「ドラッグ & ドロップでリナンバリング」にチェックを入れます。



4) 「求積図形一覧リスト」より、構成を変更する求積図形をドラッグ & ドロップで移動します。



※Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら選択すると、複数選択が可能です。

6) リナンバリングされたことが確認できます。

求積図形一覧

ドラッグ & ドロップでリナンバリング 端数処理:切り上げ 第6位

記号	接頭辞	番号	記号番号	計算式	面積	端数処理後面積	求積区画	計算要素
○		1,2,3	○1	26.750×9.000	240.7500000	240.750000	部屋1	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○2	30.800×9.000	277.2000000	277.200000	部屋2	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○3	30.800×19.000	585.2000000	585.200000	部屋6	小計+フォルダA1_計算要素b
○		1,2,3	○4	26.750×14.000	374.5000000	374.500000	部屋3	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○5	30.800×14.000	431.2000000	431.200000	部屋4	小計+フォルダA1_計算要素b
○		1,2,3	○6	26.750×19.000	508.2500000	508.250000	部屋5	小計+フォルダA1_計算要素b

OK キャンセル

7) 「ドラッグ & ドロップでリナンバリング」のチェックを外します。

求積図形一覧

ドラッグ & ドロップでリナンバリング 端数処理:切り上げ 第6位

記号	接頭辞	番号	記号番号	計算式	面積	端数処理後面積	求積区画	計算要素
○		1,2,3	○1	26.750×9.000	240.7500000	240.750000	部屋1	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○2	30.800×9.000	277.2000000	277.200000	部屋2	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○3	26.750×14.000	374.5000000	374.500000	部屋3	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○4	30.800×14.000	431.2000000	431.200000	部屋4	小計+フォルダA1_計算要素b
○		1,2,3	○5	26.750×19.000	508.2500000	508.250000	部屋5	小計+フォルダA1_計算要素b
○		1,2,3	○6	30.800×19.000	585.2000000	585.200000	部屋6	小計+フォルダA1_計算要素b

OK キャンセル

8) 「求積図形一覧リスト」より、構成を変更する求積図形をドラッグ & ドロップで移動します。

求積図形一覧

ドラッグ & ドロップでリナンバリング 端数処理:切り上げ 第6位

記号	接頭辞	番号	記号番号	計算式	面積	端数処理後面積	求積区画	計算要素
○		1,2,3	○1	26.750×9.000	240.7500000	240.750000	部屋1	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○2	30.800×9.000	277.2000000	277.200000	部屋2	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○3	26.750×14.000	374.5000000	374.500000	部屋3	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○4	30.800×14.000	431.2000000	431.200000	部屋4	小計+フォルダA1_計算要素b
○		1,2,3	○5	26.750×19.000	508.2500000	508.250000	部屋5	小計+フォルダA1_計算要素b
○		1,2,3	○6	30.800×19.000	585.2000000	585.200000	部屋6	小計+フォルダA1_計算要素b

OK キャンセル

※Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら選択すると、複数選択が可能です。

9) リナンバリングされていないことが確認できます。

求積図形一覧

ドラッグ & ドロップでリナンバリング 端数処理:切り上げ 第6位

記号	接頭辞	番号	記号番号	計算式	面積	端数処理後面積	求積区画	計算要素
○		1,2,3	○1	26.750×9.000	240.7500000	240.750000	部屋1	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○2	30.800×9.000	277.2000000	277.200000	部屋2	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○6	30.800×19.000	585.2000000	585.200000	部屋6	小計+フォルダA1_計算要素b
○		1,2,3	○3	26.750×14.000	374.5000000	374.500000	部屋3	小計+フォルダA1_計算要素a
○		1,2,3	○4	30.800×14.000	431.2000000	431.200000	部屋4	小計+フォルダA1_計算要素b
○		1,2,3	○5	26.750×19.000	508.2500000	508.250000	部屋5	小計+フォルダA1_計算要素b

OK キャンセル

10) 「記号番号」の○6から下を選択して「開始番号設定」を選択します。

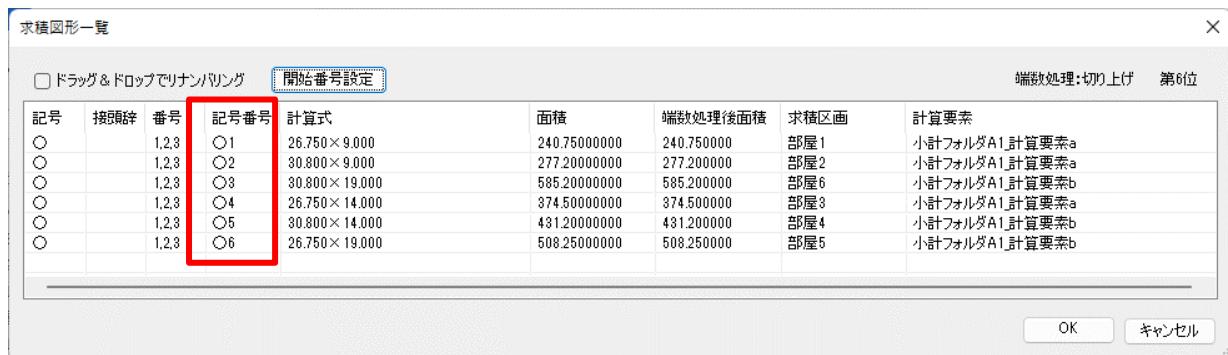


11) 「開始番号設定」ダイアログに「3」と入力して OK を選択します。

※既に使われている番号を入力することはできません。



12) 記号番号がナンバリングされたことが確認できます。



4 面積表出力

4-1 はじめに

- 各種面積表を出力します。
- 「求積図形面積表」、「求積区画面積表」、及び「集計項目面積表」の出力は、選択中のビューが対象です。
- 「建物面積表」、「用途別面積表」、及び「確認申請用情報出力」の出力は、全ての集計対象ビューが対象です。



番号	項目名	内容
①	求積図形面積表出力	求積図形の面積表を出力します
②	求積区画面積表出力	求積区画の面積表を出力します
③	集計項目面積表出力	集計項目で設定した面積集計属性の面積表を出力します
④	建物面積表出力	製図ビューに集計項目による面積表を出力します
⑤	用途別面積表出力	製図ビューに面積集計属性の面積表を出力します
⑥	確認申請用情報出力	確認申請書(第三面)の記載項目を表示します

4-2 求積図形面積表出力

- 「求積図形面積表」を選択中のビューに出力します。
- 集計項目に登録した求積区画の求積図形が出力の対象です。

4-2-1 求積図形面積表を出力する

[操作手順]

- 1) 「求積図形面積表出力」を選択します。



- 2) 「求積図形面積表」を配置する点を指定します。
※「求積図形面積表」の左上が配置の基準点となります。
- 3) 「求積図形面積表」が出力されます。

求積図形面積表

記号		面積
①	13.775×4.000	55.100000
②	1.000×2.000	2.000000
③	3.000×2.000	6.000000

4-2-2 端数処理の設定について

- 計算式は最大で小数点以下第4位まで表示します。



- 面積は、環境設定>端数処理タブ>求積図形で設定した端数処理が適用されます。

4-3 求積区画面積表出力

- 「求積区画面積表」を選択中のビューに出力します。
- 集計項目への登録の有無に関わらず、全ての求積区画が出力の対象です。

4-3-1 求積区画面積表を出力する

[操作手順]

- 1) 「求積区画面積表出力」を選択します。



- 2) 「求積区画面積表」を配置する点を指定します。
※「求積区画面積表」の左上が配置の基準点となります。
- 3) 「求積区画面積表」が出力されます。

求積区画面積表

部屋		
記号	計算式	面積
①	1.200×10.775	12.930000
②	2.575×8.775	22.595625
	合計	35.5256

4-3-2 端数処理の設定について

- 計算式は最大で小数点以下第4位まで表示します。
- 求積図形の面積は、環境設定>端数処理タブ>求積図形で設定した端数処理が適用されます。
- 合計面積は、環境設定>端数処理タブ>求積区画で設定した端数処理が適用されます。



4-4 集計項目面積表出力

- 「集計項目面積表」を選択中のビューに出力します。
- 「集計項目設定」より、表示の種類で「計算式集計」または「一覧表集計」を選択できます。

4-4-1 集計項目面積表を出力する

[操作手順]

- 1) 「集計項目面積表出力」を選択します。

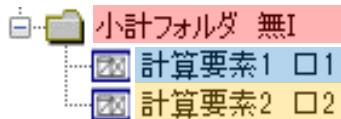


- 2) 「集計項目面積表」を配置する点を指定します。
※「集計項目面積表」の左上が配置の基準点となります。
- 3) 「集計項目面積表」が出力されます。

集計項目面積表

記号	計算要素1	面積
1	①+②+③	28.325000
	合計	28.32500
記号	計算要素2	面積
2	④+⑤+⑥+⑦	49.700625
	合計	49.70063
記号	小計フォルダ	面積
I	1+2	78.02563
	合計	78.0256
記号	計算パターン1	面積
II	I	78.0256
	合計	78.03

4-4-2 集計項目面積表と集計項目の関係



集計項目面積表

記号	計算要素1	面積
[1]	①+②+③	28.325000
	合計	28.32500
[2]	④+⑤+⑥+⑦	49.700625
	合計	49.70063
記号	小計フォルダ	面積
I	[1]+[2]	78.02563
	合計	78.0256

4-4-3 端数処理の設定について

4-4-3-1 小計フォルダの端数処理設定

下層の面積集計属性の最大の端数表示桁数

記号	小計フォルダ	面積
I	[1]+[2]	78.02563
	合計	78.0256

小計フォルダの編集

小計フォルダ名: 小計フォルダ
短縮名称: _____

端数処理

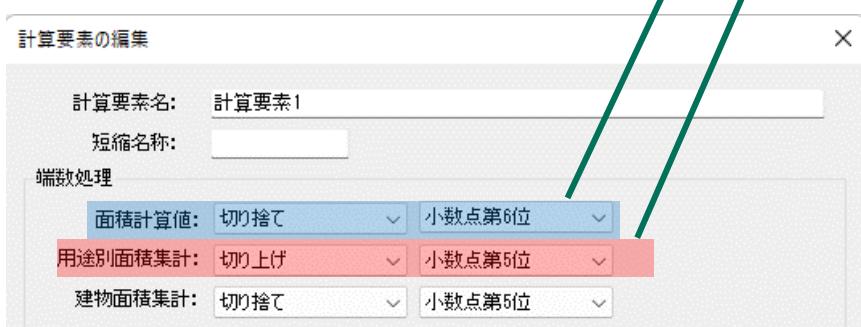
用途別面積集計: 四捨五入 小数点第4位
建物面積集計: 四捨五入 小数点第4位

記号 無 番号 I.III

OK キャンセル

4-4-3-2 計算要素の端数処理設定

記号	計算要素1	面積
1	(1)+(2)+(3)	28.32500
	合計	28.32500



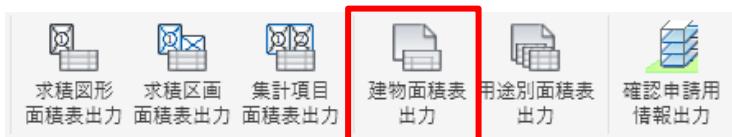
4-5 建物面積表出力

- 「建物面積表」を出力します。
- 全ての集計対象ビューが出力の対象です。
- 計算パターンごとに出力されます。

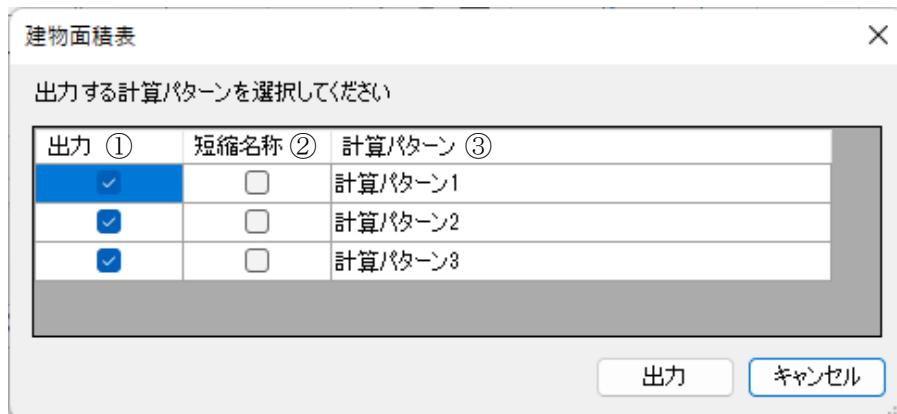
4-5-1 建物面積表を出力する

[操作手順]

- 1) 「建物面積表出力」を選択します。



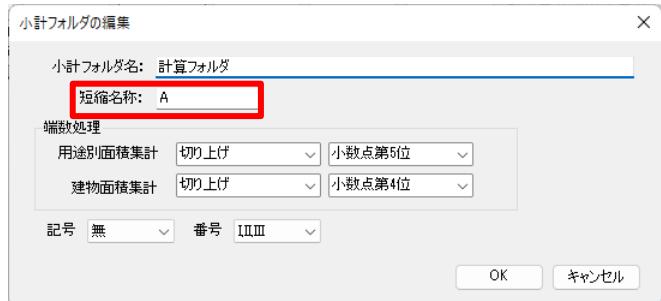
- 2) 「建物面積表」ダイアログが表示します。



- | 番号 | 項目名 | 内容 |
|----|--------|--|
| ① | 出力 | チェックを入れた計算パターンを出力します。 |
| ② | 短縮名称 | チェックを入れた計算パターンを計算要素の編集で設定した短縮名称で出力します。 |
| ③ | 計算パターン | 計算パターン名を表示します。 |
- 3) 出力する計算パターンにチェックを入れて、「出力」を選択します。「短縮名称」を設定した場合はチェックを入れると「短縮名称」で面積表が作成されます。
 - 4) 「建物面積表」製図ビューに「建物面積表」が出力されます。
 - 5) 「短縮名称」にチェックを入れない場合は、集計項目の「小計フォルダ名」、「計算要素名」を表示します。

計算パターン1	計算パターン1			
	小計フォルダ1			
	計算要素1	計算要素2		
1FL	377.84188	36.65000	414.4919	414.492
合計	377.8418	36.6500	414.492	414.50

- 6) 「短縮名称」にチェックを入れた場合は、集計項目で設定した「小計フォルダ名」、「計算要素名」の「短縮名称」を表示します。



A	A			
	AA			
AAA	AAB			
1FL	377.84188	36.65000	414.49188	414.49188
合計	377.8419	36.6500	414.4919	414.4919

4-5-2 建物面積表と集計項目の関係

4-5-2-1 面積集計属性

- 2層目の小計フォルダごとに建物面積表が出力されます。
- 下図では「計算パターン1」と「計算パターン2」が2層目の中計フォルダに該当します。

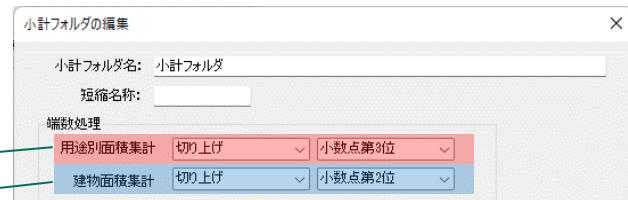
計算パターン1		小計フォルダ1			計算パターン1
計算要素1		計算要素2			
1FL	377.84188	36.65000	414.4919	414.492	
合計	377.8418	36.6500	414.492	414.50	

計算パターン2		小計フォルダ2			計算パターン2
計算要素3		計算要素4			
1FL	82.15000	12.30250	94.4525	94.453	
合計	82.1500	12.3025	94.453	94.45	

4-5-3 端数処理の設定について

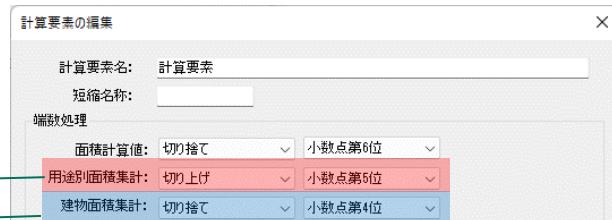
4-5-3-1 小計フォルダの端数処理設定

小計フォルダ		小計フォルダ	
計算要素			
1FL	314.74188	314.742	
合計	314.7418	314.75	



4-5-3-2 計算要素の端数処理設定

小計フォルダ		小計フォルダ	
計算要素			
1FL	314.74188	314.742	
合計	314.7418	314.75	



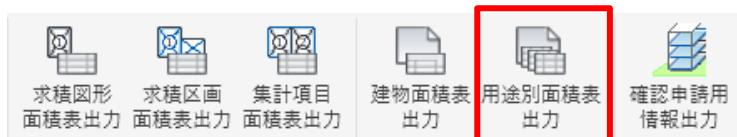
4-6 用途別面積表出力

- 「用途別面積表」を出力します。
- 全ての集計対象ビューが出力の対象です。
- 全ての面積集計属性が出力の対象です。

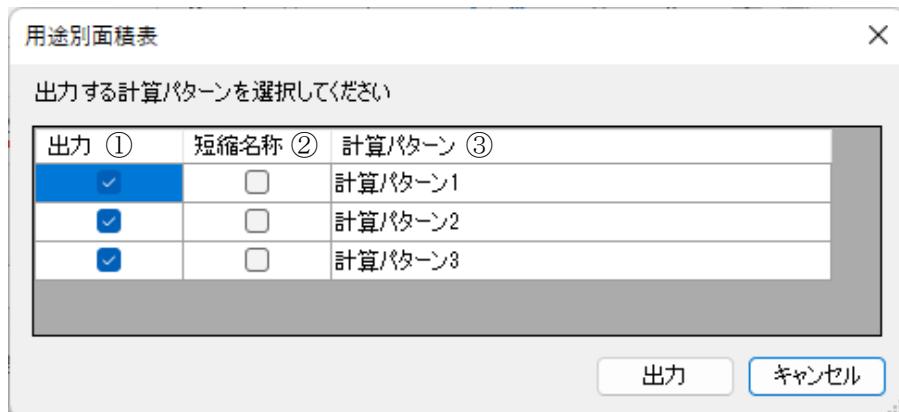
4-6-1 用途別面積表を出力する

[操作手順]

- 1) 「用途別面積表出力」を選択します。



- 2) 「用途別面積表」ダイアログが表示します。



番号	項目名	内容
①	出力	チェックを入れた計算パターンを出力します。
②	短縮名称	チェックを入れた計算パターンを計算要素の編集で設定した短縮名称で出力します。
③	計算パターン	計算パターン名を表示します。

- 3) 出力する計算パターンにチェックを入れて、「出力」を選択します。「短縮名称」を設定した場合はチェックを入れると「短縮名称」で面積表が作成されます。
- 4) 「用途別面積表」製図ビューに「用途別面積表」が表示されます。
- 5) 「短縮名称」にチェックを入れない場合は、集計項目の「小計フォルダ名」、「計算要素名」を表示します。

専有1

レベル 1	102. 18184
レベル 2	92. 44388
合計	194. 62572

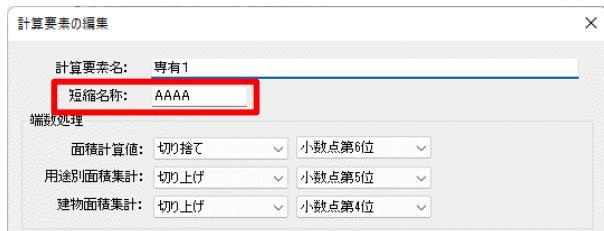
専有2

レベル 1	81. 64703
レベル 2	48. 25869
合計	129. 9057

専有3

レベル 1	124. 39935
レベル 2	30. 30642
合計	154. 70577

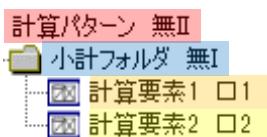
- 6) 「短縮名称」にチェックを入れた場合は、集計項目で設定した「小計フォルダ名」、「計算要素名」の「短縮名称」を表示します。



AAAA	AAAB	AAA
レベル 2 269.65342	レベル 2 117.28866	レベル 2 386.94208
レベル 1 269.65342	レベル 1 117.28866	レベル 1 386.94208
合計 539.3069	合計 234.5774	合計 773.89

4-6-2 用途別面積表と集計項目の関係

4-6-2-1 面積集計属性



計算要素1	計算要素2	小計 フォルダ	計算パターン
1FL 314.74188	1FL 110.80000	1FL 425.5419	1FL 425.542
合計 314.7418	合計 110.8000	合計 425.542	合計 425.54

4-6-3 端数処理の設定について

4-6-3-1 小計フォルダの端数処理設定

- 「小計フォルダの編集」ダイアログで設定します。

計算要素	小計 フォルダ	小計 フォルダの編集
1FL 314.74188	1FL 314.742	小計 フォルダ名: 小計 フォルダ 端数処理 用途別面積集計: 四捨五入 小数点第3位 建物面積集計: 四捨五入 小数点第2位
合計 314.7418	合計 314.74	

4-6-3-2 計算要素の端数処理設定

- 「計算要素の編集」ダイアログで設定します。

計算要素	小計 フォルダ	計算要素の編集
1FL 314.74188	1FL 314.742	計算要素名: 計算要素 端数処理 面積計算値: 切り捨て 小数点第6位 用途別面積集計: 切り上げ 小数点第5位 建物面積集計: 切り捨て 小数点第4位
合計 314.7418	合計 314.74	

4-7 確認申請用情報出力

- 確認申請書用情報をプロジェクト情報、又は csv に出力します。
- 確認申請書用計算パターンが出力の対象です。
- 確認申請書用計算パターンに求積区画を登録する必要があります。

4-7-1 確認申請用情報を出力する

[操作手順]

- 1) 「確認申請用情報出力」を選択します。



- 2) 「確認申請用情報出力」ダイアログに集計された面積を表示します。

確認申請用情報出力

最終出力日時: 2024/05/14 9:10:31 20240401

【7 敷地面積】		自動算出		手入力
敷地面積		662.20		
木敷地面積の合計				

【10 建築面積】		申請部分		申請以外の部分	合計
建築面積					
イ 建築物全体		528.81	0.00	528.81	
ロ 建蔽率の算定の基礎となる建築面積		528.81	0.00	528.81	
ハ 建蔽率				79.86	

【11 延べ面積】		(不)不買入限度				
延べ面積		(不)割合	(不)面積	申請部分	申請以外の部分	合計
イ 建築物全体		-	-	2288.37	0.00	2,288.37
ロ 地階の住宅又は老人ホーム等の部分	1/3	762.79	0.00	0.00	0.00	0.00
ハエレーバーの昇降路の部分	1	2288.37	49.95	0.00	49.95	49.95
ニ 共同住宅又は老人ホーム等の共用の廊下等の部分	1	2288.37	448.67	0.00	448.67	448.67
ホ 認定機械室等の部分	1	2288.37	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘ 自動車庫等の部分	1/5	457.67	28.62	0.00	28.62	28.62
ト 備蓄倉庫の部分	1/50	45.76	0.00	0.00	0.00	0.00
チ 蓄電池の設置部分	1/50	45.76	0.00	0.00	0.00	0.00
リ 自家発電設備の設置部分	1/100	22.88	0.00	0.00	0.00	0.00
ヌ 防水槽の設置部分	1/100	22.88	0.00	0.00	0.00	0.00
ル 宅配ボックスの設置部分	1/100	22.88	0.00	0.00	0.00	0.00
ヲ その他の不買入部分	1	2288.37	201.60	0.00	201.60	201.60
ワ 住宅の部分	-	-	1120.00	0.00	1,120.00	1,120.00
カ 老人ホーム等の部分	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00
ヨ 延べ面積					1,569.53	
タ 容積率					285.51	

csv出力 出力 保存 キャンセル

- 3) 「出力」を選択すると、プロジェクト情報に集計面積を出力します。

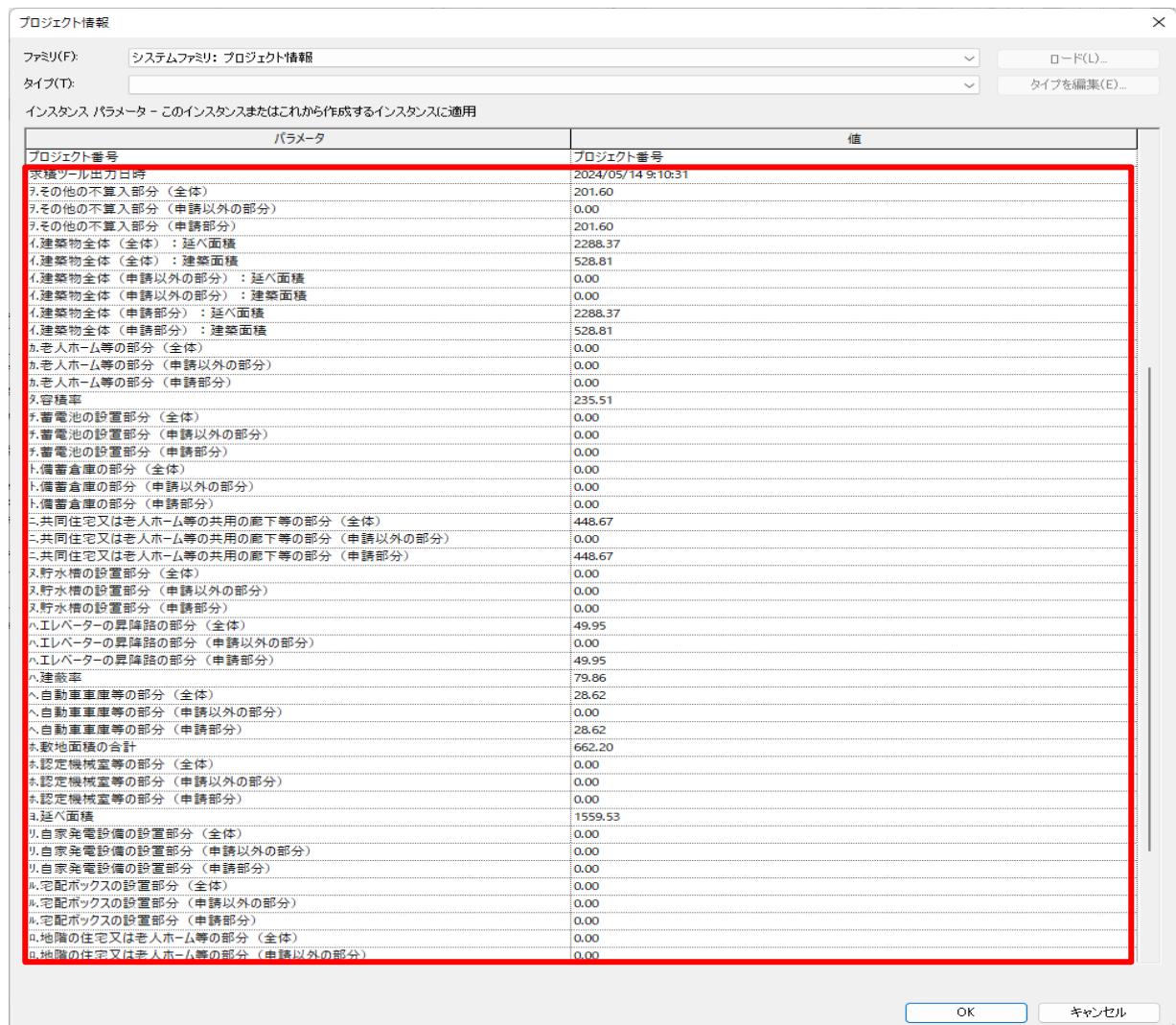
※計算パターンは、本バージョンの集計項目で用意しています。

※確認申請書は 20240401 付書式に対応しています。

※敷地面積の[手入力]欄と建築面積・延べ面積の[申請以外の部分]の欄は、数値入力が可能です。

4-7-2 プロジェクト情報の確認

○ プロジェクト情報で反映されていることを確認できます。



5 環境設定

5-1 はじめに

- 本システムの環境設定を行います。



番号	項目名	内容
①	端数処理	端数処理を設定します
②	モード設定	求積図形の表示モードを設定します
③	記号・寸法サイズ	記号・番号及び寸法のサイズを設定します
④	面積表	求積図形面積表、求積区画面積表、集計項目面積表の設定をします
⑤	建物面積表	建物面積表の設定をします
⑥	用途別面積表	用途別面積表の設定をします
⑦	プロジェクト情報	確認申請用情報出力の転記先を設定します
⑧	インポート	環境設定の設定内容をインポートします
⑨	エクスポート	環境設定の設定内容をエクスポートします

5-2 端数処理

- 端数処理を設定します。



番号	項目名	内容
①	求積図形	求積図形面積表における求積図形面積の端数処理及び端数表示桁数を選択します
②	求積区画	求積区画面積表における求積区画面積の端数処理及び端数表示桁数を選択します
③	角度精度	求積図形面積表及び求積区画面積表における角度精度の端数処理及び端数表示桁数を選択します
④	図形の寸法精度	求積図形の寸法精度の端数処理及び端数有効精度を選択します
⑤	円周率	円周率の端数有効桁数を選択します
⑥	切り上げ処理	端数処理対象桁が「0」の場合の処理を設定します

5-2-1 面積の切り上げは1つ下の位で処理する

- チェックを入れると、端数処理が「切り上げ」で、端数処理対象桁が「0」の場合に、切り上げ処理をしません。

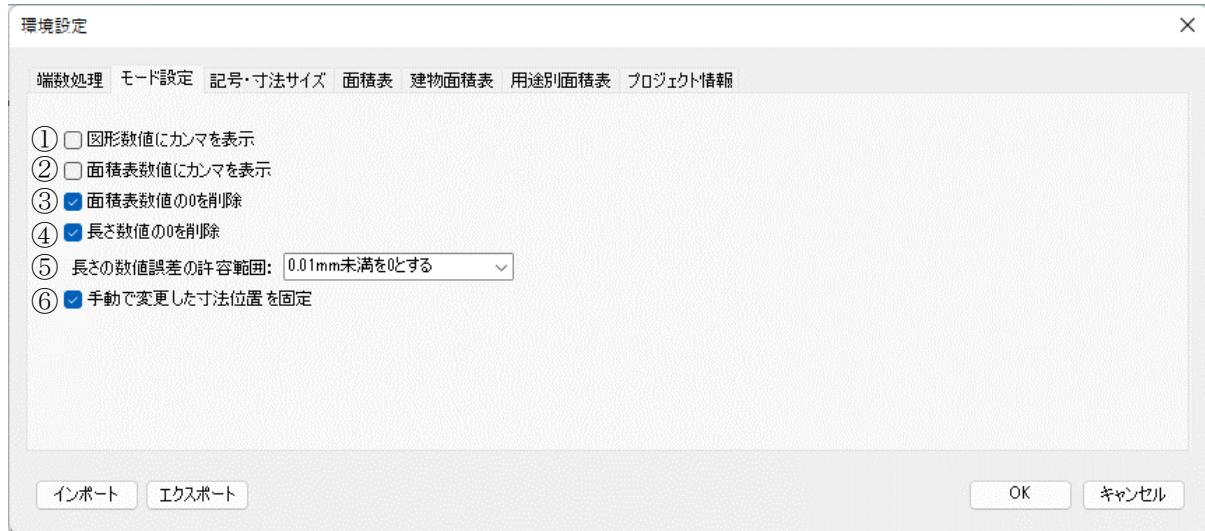
例) 実面積: 54.321012 m² 端数処理: 切り上げ 端数有効桁数: 「小数点第3位」

・チェック有の場合: 54.322 m²

・チェック無の場合: 54.321 m² (小数点第4位が「0」のため、切り上げ処理をしません。)

5-3 モード設定

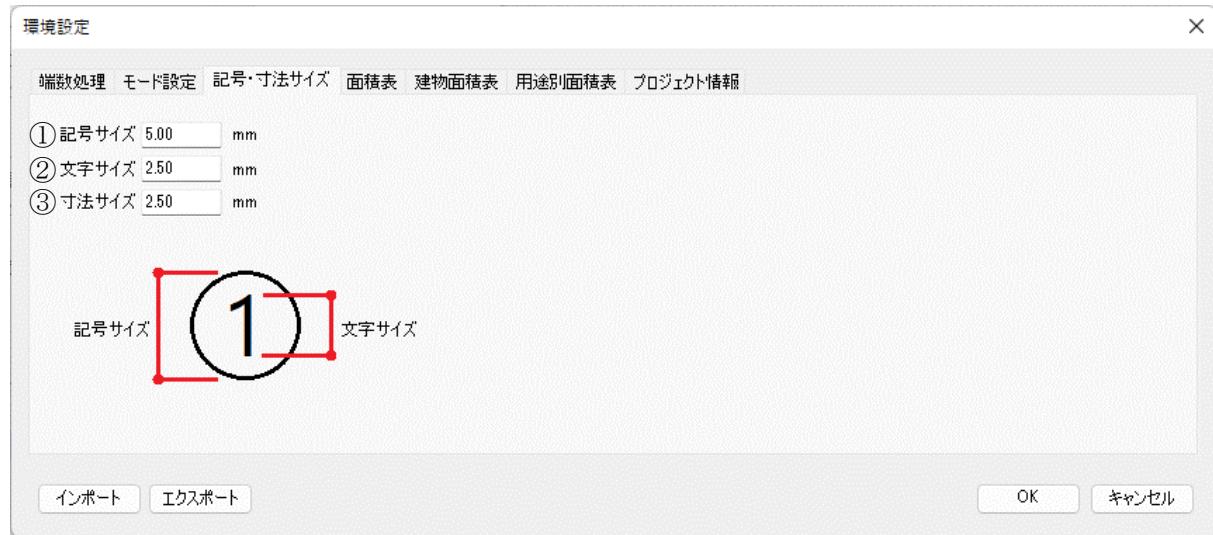
○ 求積表及び求積図形の表示モードを設定します。



番号	項目名	内容	
①	図形数値にカンマを表示	チェックを入れると、求積図形長さ寸法表示を3桁毎に桁区切りします	
②	面積表数値にカンマを表示	チェックを入れると、各面積表の面積を3桁毎に桁区切りします	
③	面積表数値の0を削除	チェックを入れると、各面積表の面積の端数有効桁以下が0の場合に0を削除します	
④	長さ数値の0を削除	チェックを入れると、求積図形長さ寸法の端数有効桁以下が0の場合に0を削除します	
⑤	長さの数値誤差の許容範囲	求積図形の長さにおける、Revitと本システムの数値誤差の許容範囲を設定します	
		処理しない	数値誤差の処理を行いません
		***未満を0とする	選択した桁数未満を0として処理を行います
⑥	手動で変更した寸法位置を固定	チェックを入れると、求積図形の寸法位置を手動で変更していた場合、求積図形更新した際に寸法が同じ位置(手動で変更した位置)に表示されます	

5-4 記号・寸法サイズ

- 記号、番号の文字及び寸法のサイズを設定します。
- 設定を変更した場合、環境設定ダイアログを閉じた段階で全ての求積図形に変更を適用します。



番号	項目名	内容
①	記号サイズ	求積図形の記号のサイズを設定します
②	文字サイズ	求積図形の文字のサイズを設定します
③	寸法サイズ	求積図形の寸法サイズを設定します

5-4-1 記号サイズについて

- 文字サイズは、求積図形自動作図を行った時点でタイプ「ADS テキストスタイル+（設定した文字サイズ）」を作成し、適用します。
- 記号サイズは、求積図形自動作図を行った時点での縮尺を基準に作図します。縮尺の変更に追従しません。

5-4-2 寸法サイズについて

- 寸法サイズは、求積図形自動作図を行った時点でタイプ「ADS テキストスタイル+(設定した寸法サイズ)」を作成し、適用します。
- 寸法サイズと文字サイズが同じ場合、タイプ「ADS テキストスタイル+(設定した寸法サイズ)」の文字サイズは記号サイズの設定が優先して適用されます。



5-5 面積表

○ 求積図形面積表、求積区画面積表、集計項目面積表の設定をします。



番号	項目名	内容
①	面積表選択	設定する面積表を選択します
		求積図形面積表 求積図形面積表の設定を行います
		求積区画面積表 求積区画面積表の設定を行います
		集計項目面積表 集計項目面積表の設定を行います
②	最大行数	求積図形面積表:最大行数の設定を行います
		求積区画面積表:最大区画数の設定を行います
		集計項目面積表:最大項目数の設定を行います
③	文字サイズ	文字サイズを設定します
④	行高サイズ	行の高さを設定します
⑤	列幅サイズ 1	記号表示列の幅を設定します
⑥	列幅サイズ 2	計算式表示列の幅を設定します
⑦	列幅サイズ 3	面積表示列の幅を設定します
⑧	グループ出力	チェックをいれると面積表をグループ化します
⑨	短縮名称を出力する	「集計項目面積表」のみ、チェックをいれると短縮名称で出力します

5-5-1 求積図形面積表

記号		面積
1	$23.4917 \times 8.6994 \div 2$	102.181847

5-5-2 求積区画面積表

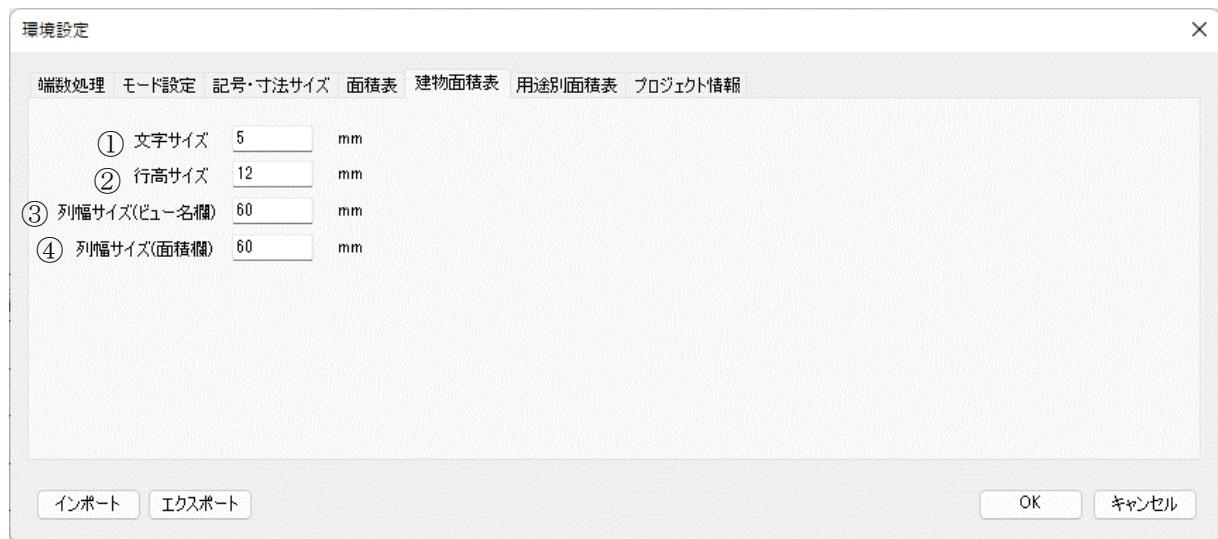
記号	計算式	面積
1	$23.4917 \times 8.6994 \div 2$	102.181847
		102.181847
合計		102.181847

5-5-3 集計項目面積表

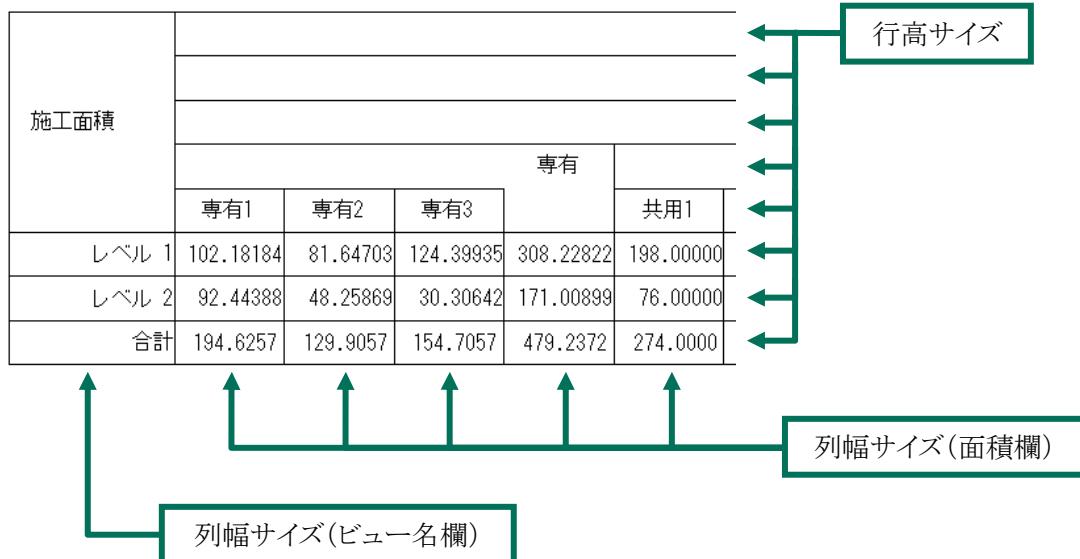
記号	専有1	面積
1	$1 + 4 + 10 + 11$	412.300689
合計		412.30068
記号	専有2	面積

5-6 建物面積表

○ 建物面積表の設定をします。



番号	項目名	内容
①	文字サイズ	文字サイズを設定します
②	行高サイズ	行の高さを設定します
③	列幅サイズ(ビュー名欄)	ビュー名表示列の幅を設定します
④	列幅サイズ(面積欄)	面積表示列の幅を設定します



5-7 用途別面積表

○ 用途別面積表の設定をします。



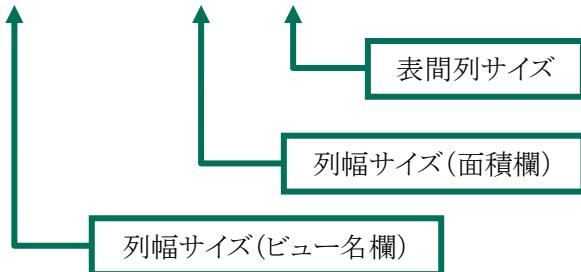
番号	項目名	内容
①	文字サイズ	文字サイズを設定します
②	行高サイズ	行の高さを設定します
③	列幅サイズ(ビュー名欄)	ビュー名表示列の幅を設定します
④	列幅サイズ(面積欄)	面積表示列の幅を設定します
⑤	表間列サイズ	表と表の間の幅を設定します

専有1

レベル 1	102.18184
レベル 2	92.44388
合計	194.62572

専有2

レベル 1	81.64703
レベル 2	48.25869
合計	129.9057

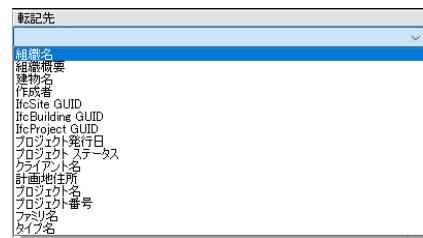


5-8 プロジェクト情報の確認

○確認申請用情報で使用するプロジェクト情報の転記先を設定します。



転記先を設定することで、プロジェクト情報への転記が設定できます。



5-9 環境設定インポート・エクスポート

- 環境設定を、「求積ツールファイル(.xml)」形式でインポートまたはエクスポートします。



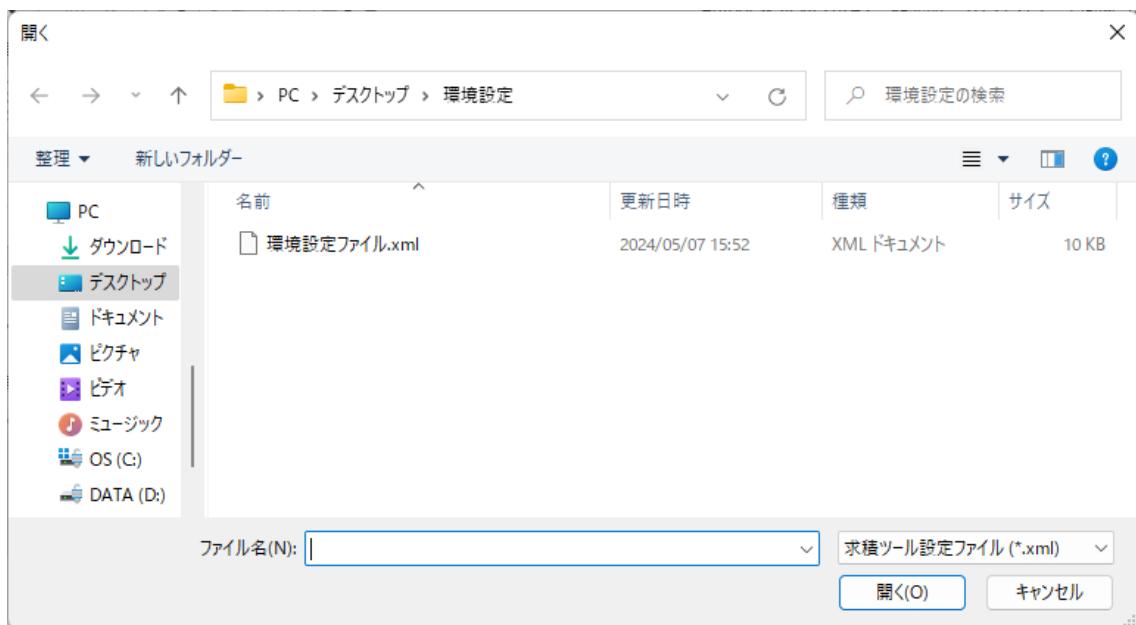
5-9-1 環境設定をインポートする

[操作手順]

- 5) 「集計項目インポート」を選択します。



- 6) 「開く」ダイアログが開きます。



- 7) インポートするファイルを選択します。

- 8) 「開く」を選択します。

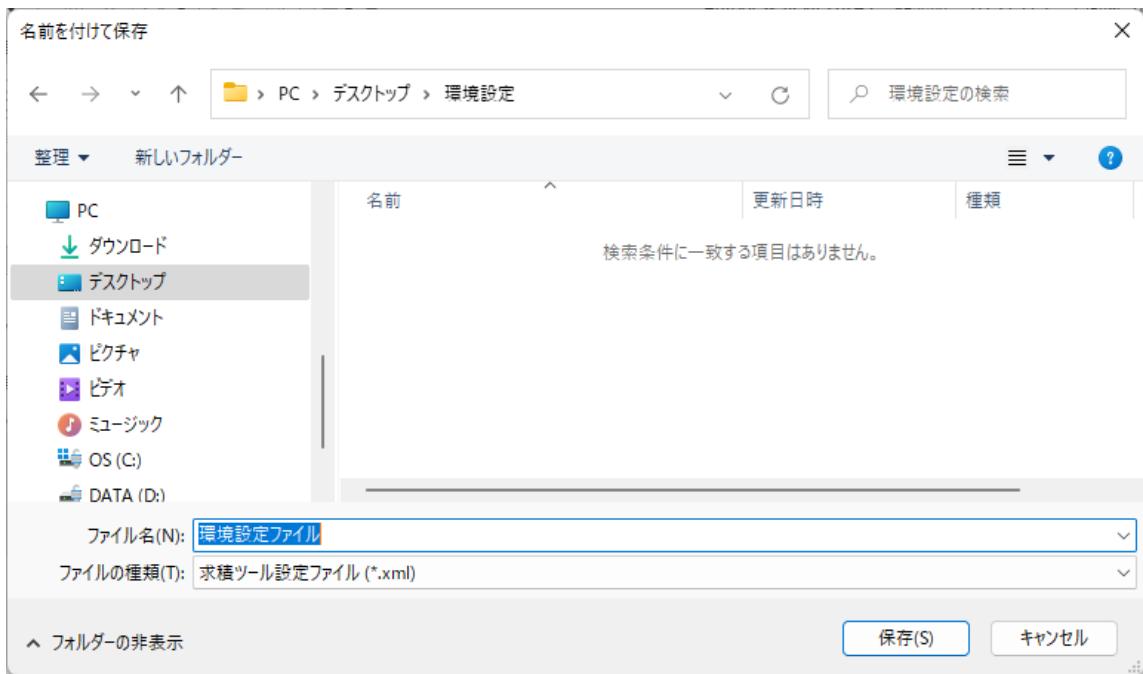
5-9-2 環境設定をエクスポートする

[操作手順]

- 5) 「集計項目エクスポート」を選択します。



- 6) 「名前を付けて保存」ダイアログが開きます。



- 7) ファイルを保存する場所、ファイル名を設定します。

- 8) 「保存」を選択します。

6 その他

6-1 サポートについて

- メールによるサポートサービスをご利用することができます。
- 電話でのお問合せは受け付けておりません。
- 下記問合せフォームよりお問合せください。
- 集計結果に関するお問い合わせ等、データを拝見しないと確認できない場合もありますのでご了承ください。

問合せフォーム: <https://www.epcot.co.jp/form/otoiawaselist.php>

※お問い合わせの際は、ソフトウェア登録証に記載の保守契約番号が必要です。

※受付順にメールにてご回答致します。

<Memo>

-
- ・本書およびこのプログラムは、著作権上、生活産業研究所株式会社に無断で使用、複製することはできません。
 - ・このプログラムは、使用する本人がバックアップの為にコピーする場合を除き、コピーすることを禁じます。
 - ・本書およびこのプログラムの運用上のトラブルについては、責任を負いかねます。
 - ・本書およびこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがあります。
-



求積ツール for Revit Ver2 リファレンスマニュアル

2024年7月初版

製作・発行

生活産業研究所株式会社

〒153-0043 東京都目黒区東山1-6-7 フォーラム中目黒
